

263
51

大元茂一郎著

尋常
六年
新地理教授要綱

東京目黒書店發兌

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0m 1 2 3 4 5

始



263.6-57

大元茂一郎著



尋常
六年
新地理教授要綱

東京 目黒書店發兌

大正
9.4.11
内交

例言

- 一、本書は文部省著作の尋常小學地理書卷二を教授する便益に供せんがために生れ出でたるものなり。従つて教科書の材料を尊重し、適當に之を具體化して兒童に提示すべき程度を示すことに力を致せり。
- 二、本書は緒論として、地理教授の要旨、地理教科書卷二編纂趣意書及び教授細目を掲げたり。これ本論活用上の便に供せんがためなり。
- 三、本書上欄に多くの空白をとれるは、茲に教授案を記入するの仕組なるが故なり。これにより別に教案簿を用ふるの要なく、所謂教授書又は教授日案等をうつすの勞をも省くことを得べし。

四、本書は都會の人口・物産等常に變動する數字的事項は、教授者自ら調査し、最近のものを記入補充することとして之を省略したり。教授者は宜しく、内務省の國勢一斑、國民新聞社の國民年鑑・博文館の世界年鑑、その他官報・新聞等の活用を望む。

五、本書は推敲十分ならず魯魚の誤なきを保せず。大方諸君の批正を祈るや切なり。

大正八年十二月

天岳生識す

尋常六年新地理教授要綱目次

緒論

- 第一 地理教授の要旨……………一
- 第二 地理教授の材料(尋常小學地理書卷二編纂趣意書)……………二
- 第三 尋常小學地理書卷二教授細目……………三

本論

- 第一 九州地方……………四
 - 其一 區分……………四
 - 其二 地勢……………五
 - 其三 產業……………六
 - 其四 交通……………七
 - 其五 都邑……………八
 - 其六 琉球列島……………九
- 第二 臺灣地方……………十
 - 其一 區分地勢……………十
 - 其二 住民產業……………十一
 - 其三 交通……………十二
 - 其四 都邑……………十三
- 第三 北海道地方……………十四

其一	區分地勢	其二	產業	其三	交通
其四	都邑	其五	千島列島		
第四 樺太地方……………九					

其一	區分	其二	地勢	其三	產業
其四	都邑交通				
第五 朝鮮地方……………一〇五					

其一	區分	其二	地勢	其三	住民產業
其四	交通	其五	都邑		
第六 關東州……………一〇〇					

第七 大日本帝國地理概説……………一〇四					
第八 アジヤ洲……………一〇三					

其一	總論	其二	支那	其三	シベリヤ
其四	印度	其五	東南アジヤ		
第九 ヨーロッパ洲……………一〇六					

第十	アフリカ洲……………一八〇
----	---------------

第十一	北アメリカ洲……………一八五
-----	----------------

第十二	南アメリカ洲……………一九七
-----	----------------

第十三	大洋洲……………二〇一
-----	-------------

第十四	世界と日本……………二〇八
-----	---------------

第十五	地球の表面……………二二二
-----	---------------

尋常六年新地理教授要綱

大元茂一郎著

緒論
第一 地理教授の要旨

小學校に於ける地理教授の要旨は、小學校令施行規則教則第六條第一項に規定せられたり。

地理ハ地球表面及人類生活ノ状態ニ關スル知識ノ一斑ヲ得シメ又本邦國勢ノ大要ヲ理會セシメ兼テ愛國心ノ養成に資スルヲ以テ要旨トス。

これによりて之を觀れば地理教授には左の三大目的あるを知るべし。

一、地球表面及び人類生活の状態に關する知識の一斑を得しむること。

- 二、本邦國勢の概要を理會せしむること。
- 三、愛國心の養成に資すること。

第二 地理教授の材料

地理教授の材料選擇に關しては小學校令施行規則第六條第二項に左の如く規定せられたり。

尋常小學校ニ於テハ本邦ノ地勢氣候區劃都會產物交通等竝ニ地球ノ形狀運動等ノ大要ヲ理會セシメ且滿洲地理ノ大要ヲ授ケ兼テ本邦トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ニ關スル簡單ナル知識ヲ得シムベシ。

而してその教材の排列を見るに、尋常科第五學年に於て、日本地理の大要、第六學年に於て、前學年の續き滿洲其の他外國地理の大要を授くることとなれり。國定尋常小學地理書は、實にこの規定に準據して編纂せられたるものにして、その編纂の趣意を理解しおくは、その取扱の的確を期する上に必要なるを以て左に之をかゝぐることにせり。

尋常小學地理書卷二兒童用修正趣意書(文部省)

一 緒言

本書ハ、明治三十七年始メテ編纂刊行シ、爾來四十四年一たび修正ヲ使用セル尋常小學地理書ニ對シ、修正ヲ施シタルモノナリ。而シテ其ノ修正ニ際シテハ、卷一修正ノ場合ニ於ケルト同シク、各學校ノ實地教授者ノ意見ヲ參酌シ、一層時世ノ要求ニ適應セシメンコトヲ努メタリ。

二 要旨

本書ノ修正ニ際シテハ、卷一ノ場合ト同シク、最近ノ資料ニヨリテ地理事項ノ異動ヲ精査シ、大局ニ着眼シテ其ノ輕重要否ヲ考察シタルハ勿論、自然事項ト人文事項トノ聯絡ニ留意シ、努メテ之ヲ具體的ニ説明シタリ。中ニモ外國地理ニツキテハ、彼我ノ關係ニ對シ、從來ヨリ一層注意シテ之ヲ記述シ、以テ兒童ヲシテ既得ノ日本地理ノ知識ト相俟チテ、我が國ノ世界的地位ニツキテ一層適切ニシテ纏リタル觀念ヲ修得セシメ、併セテ一層深刻ニ國民精神ヲ涵養センコトヲ期セリ。隨ツテ教材ノ選擇取扱方及ビ組織分量挿畫等各方面ニ修正ヲ施シタル所少カラズ。以下其ノ梗概ヲ摘出シテ教授ノ參考ニ資セントス。

三 本書ノ範圍及ビ分量

本書ノ内容ハ、舊教科書卷二ニ含マレタル範圍ヨリ本書卷一ニ繰上セラレタル四國地方ヲ除キテ、其ノ他ノ全部ヨリ成ル。

本書ノ頁數ハ本文百十頁、附録三頁ニシテ、本文ハ舊教科書卷二ニ比シテ四十五頁、舊教科書卷二ノ

四國地方ヲ除キタルモノニ比シテ約五十一頁ヲ増シ、又本文ヨリ挿畫挿圖等ヲ除ケバ、本書約八十一頁ハ舊教科書卷二ニ比シテ約三十八頁、舊教科書卷二ヨリ四國地方ヲ除キタルモノニ比シテ約四十頁ヲ増加シタリ。コレ近年九州、臺灣、北海道、朝鮮ノ諸地方ニ於ケル經濟的ノ發展著シク、隨ツテ又教材トシテ取扱フベキモノ大イニ増加シタルニ由ルト、一方ニ於テ外國地理ニツキテ從來ヨリ一層詳述スルノ要アルヲ認メ、其ノ教材ヲ増加シタルニ由ル、

カクノ如ク本書ニ於テハ頁數頗ル増加シタリトイヘドモ、卷一ニ於ケルガ如ク組織及ビ說明ノ上ニ一大修正ヲ施シ、又國語教科書トノ聯絡ニ鑑ミテ文章ヲ平易ニスル等、大イニ兒童ノ理解ヲ容易ナラシメ、又教授時間ノ節約ニ便センコトニ努メタルガ故ニ、頁數ノ増加ニヨリテ兒童ノ負擔ヲ過重ナラシムルコトナカルベク、又本書ハ卷一ニ比シテ二十頁ヲ増加セルモ、之ガ爲教授上卷一トノ權衡ヲ失スルノ虞ナシト信ズ。

四 本書ノ組織 一

イ 我が國ノ各地方

本書ニ於ケル九州、臺灣、北海道、樺太、朝鮮等五地方ノ排列ノ順序ハ從來ト異ナルコトナシ。又是等各地方ノ取扱方ハ本書卷一ニ於ケル各地方ノ取扱方ト大體其ノ趣意ナ同シク、但シ九州地方以外ノ四地方ニ於ケル道、廳、支廳、區等ノ行政區分ハ府縣ト同様ニ取扱ヒ難キ事情アルヲ以テ、本文ニ於テ朝鮮地方ノ章ニ十三道に分たる下記載シ、又附録ニ於テ朝鮮ニ於ケル道ノ名稱及ビ道廳ノ所在地等ヲ示シテ便宜學修セシムルニ資シタル外、一切之ヲ記述セズ。隨ツテ區分ノ項目ハ臺灣、北海道、朝鮮ノ二地方ニテハ之ヲ設ケタルモ、區分、地勢ノ名稱ノ下ニ地勢ノ項目ト併置シ、樺太地方ニテハ別ニ區分ノ項目ヲ設ケルコトナシ。

上ニ述ベタルガ如ク、本書ニ於テハ九州以外ノ四地方ニツキテ其ノ行政上ノ細分ヲ示サザルガ故ニ、是等諸地方ノ「産業」「都邑」ノ項目ニ於テ、殊ニ狹キ地域ヲ限定スベキ必要アル場合ニハ、自然ノ地物交通線、又ハ都邑ヲ本トシテ之ヲ指示セリ。

ロ 我が國各地方以外ノ地

舊教科書卷二ニ於テハ、我が國ノ諸地方ヲ取扱ヒタル後、直ニ「關東州附滿洲」ヲ述ベ、之ニ次ケル「世界一」ノ章ニ於テ地球ノ形狀、運動等ニツキテ其ノ概要ヲ述ベ、カクテ「世界二」「世界四」ニ至ル第三章ニ於テ、滿洲以外ノ諸外國ニシテ本邦ト重要ナル關係ヲ有スルモノニツキ必要ナル地理事項ヲ擧ゲ、最後ノ「帝國地理概説」ノ章ニ於テ帝國地理ノ大要ヲ記述セリ。

然ルニ本書ニ於テハ、我が國ノ各地方ヲ取扱ヒタル後、直ニ「關東州」ノ章ヲ設ケテ關東州ヲ說明シ、次イテ「大日本帝國總説」ノ章ニ於テ我が國ノ地勢、産業、交通等ニツキテ其ノ總説ヲナシ、カクテ後外國地理ノ說明ニ移レリ。

外國地理ハ從來「世界二」乃至「世界四」ノ三章ニ於テ記述シタルモ、今回之ヲ改メ、六大洲別ニ章ヲ異ニシテ之ヲ說明シ、カクテ後「世界」と日本ノ章ヲ設ケテ、六大洲三太平洋ニツキ其ノ概括ヲナスト共ニ我が國ノ世界ニ於ケル地位ヲ知ラシムルコトトシタリ。而シテ從來「世界一」ノ章ニ於テ述ベタル事項ハ之ヲ本書最後ノ章「地球の表面」ニ收メタリ。

五 本書ノ組織 二

關東州以下諸章ノ取扱方ハ、舊教科書卷二ニ於ケルト相違スル所多ク、又新教科書卷一ニモ其ノ類例少キガ故ニ、之ガ編纂ノ趣意ニツキ以下更ニ述アル所アルベシ。

(一) 關 東 州

關東州ニツキテハ舊教科書ノ附滿洲ヲ分離シテ特ニ一章ヲ設ケタルコト既ニ述ベタルガ如シ。シカモ關東州ハ自然上ヨリ見ルモ、人文上ヨリ見ルモ、自餘ノ滿洲ノ地方ト極メテ密接ナル關係アルヲ以テ、昔ニ此ノ章ニ於テノミナラズ、別ニ支那ノ章中殊ニ滿洲ノ部ニ於テモ亦大イニ注意スル所アリタリ。サレバ教授ニ際シテハ是等各所ヲ對照スルヲ要ス。

(二)「大日本帝國總說及ビ世界と日本」

本卷第七章「大日本帝國總說」ハ我が國ノ地勢、産業、交通等ヲ總括シタルモノナレバ、本書卷一ノ第一章「大日本帝國」トハ自ラ其ノ趣ヲ異ニス。

我が國ノ産業、交通等諸般ノ地理事項ハ、諸外國トノ關係ニヨリテ消長スルコト近時益々顯著ナルモノアリ。然レドモ始メテ「大日本帝國總說」ノ章ヲ學修スルニ當リ、兒童ハ尙未ダ外國ノ地理ヲ修得セザルガ故ニ、本章ニ於テハ我が國ノ對外關係ニツキテ詳細ニ之ヲ説明スルコト能ハザルノ憾アリ。此ノ故ニ本章ニ於テハ是等ノ事項ヲ主トシテ對內的に觀察シテ記述シタリ。

我が國ノ對外關係ニツキテハ、更ニ外國地理ノ部ニ於テ漸次之ヲ具體的ニ知ラシメ、第十四章「世界と日本」ニ進ムニ及ビテ、之ヲ概括センコトヲ期シタリ。サレバ教授者ハ我が國ノ對外的ノ地理事項ニツキテハ常ニ本書中各所ノ記事ヲ對照シ置キテ、教授ノ徹底ニ留意スベキナリ。

(三) 六 大洲

外國地理ノ部ニ於テハ、兒童ヲシテ先づ各大洲ニツキテ其ノ概念ヲ得セシメ、更ニ大洲中ニ於テ主要ナル諸國又ハ特別ノ地方ガ如何ナル地位ヲ占ムルカ、又我が國ト如何ナル關係ヲ有スルカヲ知ラシムルヲ以テ主眼トセリ。隨ツテ主要諸國又ハ特別ノ地方ニツキテハ、從來ノ如ク必ズシモ之ヲ個別又ハ地方別ニ記述セズ。而シテ「アジヤ洲及ビヨーロッパ洲」ニ於テハ我が國ト特別ニ重大ナル關係ヲ有スルモノ多キガ故ニ、是等兩洲ニツキテハ特別ノ記述法ヲ採リ、必ズシモ他ノ諸洲ト換

ナ一ニセズ。即チ「アジヤ洲」ノ章ニ於テハ、總論ニテ其ノ概說ヲナセル外、支那、シベリヤ、印度、東南アジヤニツキ個別の二稍詳細ナル記述ヲナシ、ヨーロッパ洲ノ章ニ於テハ、章末ニ至リ主要諸國ニツキテ、各簡單ナル說ヲ爲シタリ。

(四) 目下我が國ノ占領セル膠州灣及ビ南洋諸島ニツキテ

大正三年以來、我が國ガ占領セル膠州灣及ビ南洋諸島等ニツキテハ、前者ハ六十四頁後者ハ百二頁ノ各上欄ニ特設シ、本文ニ準ジテ之ヲ取扱ハシムルコトトセリ。

(五) 地球ノ表面

本書「地球の表面」ノ章ニ收メタル事項中ニハ或ハ地誌ヲ教授スルニ際シ、或ハ兒童ノ讀圖力ヲ養成スルニ當リ、必要ナルモノアルヲ以テ、必ズシモ日本、外國ノ地理ヲ學ビ終ルヲ候ツニアラザレバ教授シ得ラザルモノニアラズ。サレバ本章中ノ一部又ハ全部ヲ適當ノ時機ニ應ジテ、便宜教授スルノ妨ナキハ云フマデモナシ。本章ヲ所謂地誌ノ間ヨリ分離シテ殊更ニ之ヲ卷末ニ配置セルハ、カ、ル取扱上ノ便宜ヲ計ランガ爲ニ外ナラズ。

六 挿畫挿圖

本書ノ挿畫挿圖ノ選擇及ビ其ノ配置ニツキテハ、本書卷一ニ於ケルト大體其ノ趣旨ヲ同ジクス。本書ノ挿畫ハ其ノ數スベテ六十四個ニシテ、舊卷ニヨリ四國地方ヲ除キタル部分ノ挿畫ニ比シテ、二十個即チ約五割ヲ増シ、本書卷一ノ挿畫ニ比スレバ、其ノ數ヲ同ジクス。

本書卷一ニ於テ始メテ用ヒタル圖表ノ類ハ、卷一ニテハ四面ナリシモ、本書ニハ之ヲ増加シテ總數八面トナシ、又別ニ新ニ地圖一面ヲモ挿入シタリ。サレバ挿畫挿圖ノ總數ニ於テ、本書ハ卷一ニ比シテ八個、舊卷ニヨリ四國地方ヲ除キタルモノニ比シテ三十一個、本書卷一ニ比シテ四個ノ増加ヲ

見ルニ至レリ。

本書ノ挿畫挿圖ノ大多數ハ今回版ヲ新ニシタルモノナリ。樺太ノ日露の國境と境界標(三十一頁)「鴨綠江の開閉橋」(五十四頁)「遼河の分流」(六十八頁)「印度のカルカッタ港」(七十二頁)「アルゼンチンの羊毛の市場」(九十八頁)「緯緯線」(百七頁)「氣候帶」(百十頁)ノ如ク、舊書卷一又ハ高等小學地理ノ挿畫挿圖ニ類スルモノニアリテモ其ノ大部ハ全ク版ヲ改メ、又ハ訂正縮版シタルヲ以テ、從來ノモノヲ其ノマ、使用スルハ、遼河の分流「緯緯線」トノ二種ニ過ギズ。

圖表中、石炭の産額比較(六頁)「綿の産額比較」(七十二頁)「世界鐵石炭の産額比較」(七十八頁)「羊毛の産額比較」(百頁)ハ、卷一ニ挿入シタル「麥の産額比較」(十頁)「齒の産額比較」(四十五頁)「綿絲産額比較」(六十四頁)ト略シ其ノ圖式ヲ同ジクセルモ、其ノ他ニアリテハ圖式ノ上ニ多少ノ相違アリ。印チ「我が國主要貿易品の貿易額比較」(五十三頁)ニアリテハ、輸出額及ビ輸入額ノ割合ニヨリテ圖面ヲ兩分シ、其ノ各部ニ主要ナル輸出品又ハ輸入品ヲ其ノ割合ニヨリテ之ヲ記入シタリ。是等主要貿易額ニ對スル價格ノ割合ハ、十等分セラレタル圖ノ上横線ニヨリテ知リ得ベク、又主要貿易品ノ輸出又ハ輸入ノ總額ニ對スル價格ノ割合ハ、輸出輸入ノ各部ニ於テ十等分セラレタル圖ト下横線ニヨリテ之ヲ知リ得ベキナリ。「我が國主要農産物の産額比較」(四十九頁)ト「我が國主要工業品の産額比較」(五十二頁)トニ於テハ、各ノ總産額ヲ知ルコト困難ナルガ故ニ、其ノ總額ヲ文字ニヨリテ明記スルコトヲ避ケ、概算ニヨリテ見出シタル總額ヲ本トシテ製圖シ、二億圓ヅツノ差ニヨリテ圖ノ上横線ヲ區劃シタリ。而シテ最も主ナル品目ノ各總産額ハ比較的正確ニ之ヲ知ルコトヲ得タルガ故ニ、其ノ部ニハ實線ヲ用ヒ、其ノ他「比較的正確ヲ缺ケル部」ニハ點線ヲ用ヒ、以テ自ラ材料ノ精疎ノ別ヲ表セリ。

七 統計

我が國ノ産業、都邑ノ人口等ニ關スル統計ハ、主トシテ卷一ニ於ケルト同シ年度ノモノヲ用ヒタレドモ、必要ニ應ジテ是ヨリ一箇年度後ノモノニヨリタルモノナキニアラズ。外國ノモノニアリテハ、大體我が大正五年ト同シ年度ノ數字ヲ用ヒタリ。但シ世界戰爭中、各方面ノ統計ニ非常ナル異動ヲ來シタルト、所要ノ事項ニツキテ同シ年度ノ各國ノ統計ヲ得難キモノアリタルトニヨリテ、止ムヲ得ズ一九一三年又ハ一九一二年、即チ戰爭開始ノ前年又ハ其ノ前々年ニ於ケルモノヲ用ヒタルモアリ。「鐵石炭の産額比較圖」(ハ一九一三年ノ數ニヨリ)「綿の産額比較」(羊毛の産額比較)「ハ一九一二年ノ數ニヨリタルモノナリ。

八 地名

我が國ノ山川、都邑等、地名ノ書キ方及ビ讀ミ方ハ、其ノ所屬ノ府縣ニテ公用スルモノニヨリタルコト、卷一ニ於ケルト異ナルコトナシ。而シテ本書ニ用ヒタル我が國內ノ地名ニシテ、舊卷ニ用ヒタルモノト相違セルモノナシ。

第一種讀本卷十マテニ出テズシテ、地理書卷二ニ於テ「新ニ出ヅル地名」ニ對スル振假名ノ附ケ方、及ビ九州地方ニ於ケル新出地名ノ註記方ハ、卷一ニ於ケルト其ノ趣旨ヲ同ジクシ、臺灣地方以下ニ於ケル新出地名ニハ、我が國ノモノニアリテハ地方名、外國ノモノニアリテハ國名又ハ地方名ヲ以テ註記シタリ。

本書ノ外國地名ニハ、從來ノモノニ比シテ讀ミ方書キ方ニ多少變化ヲ來セルモノアリ。次ニ之ヲ表示セン。

新

舊

マレイ

マライ

緒論 第二地理教授の材料

- ジャマ
 - イルグーツク
 - デンマーク
 - ストックホルム(附録)
 - 喜望峯
 - ニューファンドランド
 - キユバ
 - リオデジャネイロ
 - カリヤガ
- ジャバ
 - イルグツク(附圖)
 - デンマルク(同)
 - ストックホルム(同)
 - 喜望峯 (同)
 - ニューファンドランド(同)
 - キユバ(同)
 - リオデジャネイロ(同)
 - カイヤオ(同)

外國地名ニシテ從來漢字ヲ以テ書キ表サレタルモノモ、本書本文ニハ成ルベク之ヲ假名ニテ書キ表シ附録ニ假名ト漢字トヲ對照シテ參考ニ供セリ。

本書ニテ外國ノ固有地名ヲ假名ニテ書キ表ス場合ニハ、其ノ右ニ二線ヲ施セルコト、從來ト異ナルコトナケレドモ、一ノ固有地名ヲ假名ト漢字ト併用シテ書キ表ス場合ニハ、從來假名ノ部ノミニニ線ヲ施セシテ改メテ、アメリカ合衆國「中アジャ」北アメリカ洲「南アメリカ洲」ノ如ク固有地名ノ全部ニ之ヲ施シタリ。但シ「東南アジャ」トイフ名稱ノ如キハ地理上便宜的ニ用フルモノナルガ故ニ、依然「アジャ」ノミニニ線ヲ施シテ「東南アジャ」トシ、以テ之中アジャ「南アメリカ」ノ如キ固有地名ト區別シタリ(本書卷一ノ三頁ノアメリカ合衆國ハ追ツテアメリカ合衆國ニ改ムベシ)。

九 雜 件

一、地名以外ノ漢字ハ地名ノ場合ト同ジク、第一種讀本卷十マテニ現レザル新出ノ漢字及ビ讀ミ方

ニ限リ、我が國ノ各地方ノ章ト大日本帝國總説以後ノ章トノ別ニヨリテ、振假名ヲ施シタリ。即チ我が國ノ各地方ノ章ニ於テハ、卷一ニ於ケルト同ジク各號ニ於テ各、最初ノ一箇所ニノミ振假名ヲ施シ、大日本帝國總説以後ノ章ニ於テハ之ヲ省キテ、是等以外ノモノニノミ各、最初ノ一箇所ニ振假名ヲ施セリ。

上欄及ビ挿畫挿圖ノ説明文ニテハ、新出漢字ト雖モ一切之ニ振假名ヲ施サザルコト、卷一ニ於ケルト同ジ。

二、動植物ノ名稱ヲ平假名ニテ書キ表ス場合ハ、其ノ左ニ一線ヲ施セリ。

三、朝鮮ニ二箇師團設置ノコトハ大正四年既ニ決定シ、羅南ニハ第十九師團、龍山ニハ第二十師團ヲ置クコトトナレルモ、其ノ編成未ダ完カラズシテ、目下是等兩師團ノ一部ヅツチ以テ、第十九師團ヲ編成シ、其ノ司令部ヲ龍山ニ置ケリ。本書朝鮮地方都邑ノ項目中、龍山及ビ羅南ノ條ニ於テ各「一箇師團を置く」ト記シテ、第何師團ヲ置クトセザリシハ、右ノ事情アルガ故ナリ。

四、從來、東清鐵道「ト記セシモノヲ本書ニハ「東支鐵道」ト改メタリ。

十 附 録 ニ ツ キ テ

舊教科書、九州地方ニ「各縣誌上欄ニ記載シタル各縣ノ管轄國名及ビ其ノ範圍ハ、本文ヨリ撤去シテ之ヲ附録ニ移シタルコト、卷一ノ附録ニ於ケルト同ジ。其ノ他本書ノ附録ニハ新ニ臺灣、北海道、樺太、朝鮮ノ諸地方地及ビ關東州ノ各行政廳ノ名稱所在地管轄區域及ビ我が條約國ノ國名首府・面積・人口等ヲ表示シ、便宜學修セシムルコトトシタリ。

第三 尋常小學地理書卷二教授細目

週	教授事項	主要なる連絡事項	準備事項
第一學期 凡十五週約三十時 (新令による)	<p>第一 九州地方 凡十時</p> <p>一 區分</p> <p>1. 福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・沖繩の八縣。</p> <p>2. 縣廳は福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・那覇にあり。</p> <p>二 地勢</p> <p>1. 山脈</p> <p>九州山脈・筑紫山脈・阿蘇火山脈・鶴見・阿蘇温泉。</p> <p>別府温泉等の温泉場</p> <p>耶馬溪の名勝</p> <p>霧島火山脈：霧島山・櫻島</p> <p>2. 河川・平野</p> <p>筑後川：下流地方：筑紫平野・球磨川・大淀川。</p>	<p>阿蘇山(尋讀)二ノ二</p> <p>1. 噴火山 2. 複雑なる火山 3. 火山の破裂</p>	<p>九州地方地圖</p> <p>阿蘇火山の寫眞</p> <p>別府温泉地圖</p> <p>耶馬溪の寫眞</p>

二	三
<p>3. 海岸</p> <p>イ、北部の海岸には良灣ありて港市多し。門司・若松・博多・佐世保・長崎・三池。ロ、南部海岸</p> <p>大隅・薩摩の二半島・鹿兒島灣・鹿兒島港。ハ、屬島</p> <p>壹岐・對馬・五島・天草・薩南諸島・琉球。</p>	<p>3. 鑛業</p> <p>1. 農業・林業</p> <p>米・麥・甘藷・菜種等。</p> <p>はぜ實(北部)・煙草(鹿兒島灣沿岸)・林産(東南部)</p> <p>2. 牧畜</p> <p>我國牛馬の主産地。中部以南に盛なり。</p> <p>3. 鑛業</p> <p>福岡・佐賀・長崎の三縣：石炭</p> <p>鹿兒島縣：金。</p> <p>4. 工業</p> <p>北部の海岸地方の工業。</p> <p>八幡の製鐵所。其他製鍊場・砂糖・藥品等。</p> <p>有田の製陶・長崎の造船・久留米の耕織・大分縣の疊表。</p> <p>5. 水産業</p>
<p>「三池炭礦案内」は詳細に内容を記述せり。</p> <p>(三井礦山株式会社非賣品)</p>	<p>「八幡製鐵所事業概要」(同所發行非賣品)には詳細を記述しあり。</p> <p>「三菱長崎造船所概要」(同所發行非賣品)には同所の内容を詳細に記述しあり。</p>
	<p>北部地方工場散布圖</p> <p>八幡製鐵所繪葉書又は寫眞</p>

長崎縣の錫・鹿兒島縣の饅頭・有明海北部の牡蠣・西方海中よりの珊瑚。

四 交通

1. 鐵道

鹿兒島線・長崎線・豐州線・宮崎線・炭坑地方の鐵道線。

2. 海上の交通

門司は交路の集中點。
長崎附近よりの海底電線。

五 都邑

1. 福岡縣

門司 交通の要地。石炭輸出港。
若松 石炭輸出港。
小倉 第十二師團。
福岡 商業盛・九州帝國大學・東南に大宰府神社あり。

久留米 久留米耕。第十八師團。

三池港 石炭輸出港。

大牟田 工業地。

2. 佐賀縣

佐賀 農産物集散地。
唐津港 石炭輸出。

福岡市名所繪葉書

久留米耕の標本

五

3. 長崎縣

長崎 天然の良港・宏大なる造船所。

4. 熊本縣

熊本 熊本城・第六師團。
八代 工業地。

5. 鹿兒島縣

鹿兒島 良港。東に櫻島。
薩南諸島：甘蔗。

6. 宮崎縣

都城 霧島山の東南。
宮崎 大淀川の下流。

7. 大分縣

佐賀關 大なる製鍊所。
大分

別府 溫泉場。

宇佐 宇佐八幡。

六 琉球列島

- 1. 氣候溫暖雨量多し。
 - 2. 産物・甘蔗・粗糖・甘蔗及び豚。
 - 3. 都邑
- 那覇・列島唯一の港市。
首里

鹿兒島名所繪葉書

三菱造船所の繪葉書
又は寫眞
熊本城寫眞

別府溫泉場地圖

那覇首里の繪葉書
又は寫眞

九州地方總括地圖實習

第二 臺灣地方 凡六時

一 區分

1. 臺灣島・屬島。

2. 總督府・臺北。

二 地勢

1. 山脈・海岸。

イ、臺灣山脈・新高山。

ロ、海岸線屈曲少し。基隆・打狗。

2. 河川

淡水河・濁水溪・下淡水溪。

3. 西部の平野

地味肥沃・農業工業盛に交通も便。

三 住民・産業

1. 人口

2. 産業

イ、氣候温暖雨多し。檜・樟・がしまる・びんらうじ等繁茂す。

家畜には豚牛等あり。

ロ、農業

稻・甘蔗・茶・甘藷・落花生・バナナ・パイナップル。

臺灣地方地圖

臺灣より樟太へ
(尋讀一・一九)

1. 臺北市街と臺灣神社

2. 西部縱貫鐵道

3. 開港場

4. 産物

5. 山林

6. 住民と教育

同文館教育畫報第五卷
新高山參照

熱帶植物掛圖標本

七

六

ツプル。

ハ、林業・工業

製材業・樟腦製造

ニ、礦業其他

金瓜石・瑞芳の金・金瓜石の銅。

基隆附近の地・石炭。

西海岸：鹽・各地より夏帽子。

四 交通

1. 鐵道

西部の平野に發達す。東部にもあり。

2. 海上の交通

海上の交通は不便。

基隆・打狗は航路の中心。

五 都 邑

1. 基隆 米・樟腦・樟腦油。

2. 臺北 政治・商業・交通の中心
製茶の業も亦盛なり。

3. 淡水港 茶を輸出す。

4. 臺中 本島中部の中心市場。

5. 嘉義 本島中部の中心市場。附近の地には製糖業盛なり。

6. 臺南 本島南部の中心都會。

茶及樟腦の標本

臺北・基隆の市街繪
葉書

八

7. 打狗 砂糖・米を積出す。

8. 阿蘇 製糖工場あり。

6. 花蓮港 甘蔗を産す。

10 馬公 澎湖島にあり。海軍の要港。

臺灣地方の總括地圖實習

第三 北海道地方 凡七時

一 區分

北海道本島とその屬島・千島列島。北海道廳は札幌。

二 地勢

北海道本島は菱形の主部と西南に突出せる半島部より成る。

1. 山系

蝦夷山系：南北。

千島火山脈：東西。

旭岳。

那須火山脈：駒ヶ岳・まつかり岳。

2. 河川・平野

天鹽川・十勝川・石狩川。

石狩平野：人口多く交通便。

3. 海岸

内浦灣。

北海道地方地圖

アイヌ人の寫眞

アイヌの風俗 (尋讀一〇ノ二三)

1. アイヌの男女

2. 衣食住

3. 熊まつり

4. 言語

5. アイヌ人保護法

山脈略地圖

(小黒板に用意するも可なり)

主なる港：函館・小樽・室蘭・根室。

三 産業

1. 概説

2. 水産業

にしん・いわし・たら・いか・ほたてがひ。こんぶ。

さけ・ます。

3. 農業・牧畜

豆類・麥類・馬鈴薯。

米も近年産額増加。

苹果：本島の西南部。

太平洋方面の原野：馬

4. 林業

森林多し。えぞ松・とど松。

北部海岸地方：どろのき。

5. 鑛業

石炭・硫黄。

6. 工業

札幌：麻絲・ビールの製造。

苫小牧：洋紙・パルプの製造。

室蘭：製鋼所。

四 交通

少年工藝文庫製紙の巻を一讀すべし。

えぞ松・とど松・どろの木の標本

1. 鐵道

函館線：函館・小樽・札幌・旭川。
釧路線：支線。

2. 海上の交通

函館小樽より樺太・浦潮斯徳に航路通ず。

五 都 邑

1. 函館：商業盛・水産物を輸出す。
2. 小樽：商業盛・木材を輸出す。
3. 札幌：北海道地方の中心城市・農産物の集散地・諸種の工業。
北海道帝國大學。

4. 旭川：第七師團の所在地。

5. 室蘭。

6. 釧路。

六 千島列島

1. 三十餘の島嶼より成る。

2. 住民少し。

3. さけ・ますの産多く、近海にはおつとせい・らつこ等すめり。

北海道地方の總括地圖實習

第四 樺太地方 凡三時

一 地 勢

1. 海 岸

その形南北に長く南部と北部とは半島の突出せるあり。各一灣をいだく。

2. 山脈・河川・平野

イ、樺太山脈：西部を南北に走る。

ロ、東西兩山脈間：低地。

ハ、幌内川・鈴谷川。

二 産 業

1. 農業・林業・工業等

イ、農業盛ならず。

ロ、とら松・えぞ松・から松の産多し。

ハ、所々に石炭の産出あり。

2. 水産業

にしん・ます・たら・かに。

海豹島のおつとせい。

三 都 邑・交通

1. 大泊：樺太地方の門戸。

2. 豊原：樺太地方の中心都會。

3. 真岡：西海岸の主なる港。水産物の集散地。

樺太地方の總括地圖實習

第五 朝鮮地方 凡八時

樺太より臺灣へ(尋讀一ノ二四)

1. 樺太の氣候

2. 樺太都會交通境界

3. 樺太の水産業

4. 樺太の開拓

同文館教育畫報第五卷樺太の森林参照

おつとせいの繪畫

朝鮮地方地圖

樺太地方地圖

一四

一 區 分

朝鮮半島・その屬島。

十三道に分つ。

二 地 勢

1. 山 脈

イ、長白山脈：白頭山。

ロ、大白山脈：金剛山。

2. 河 川

鴨綠江・豆滿江・大同江・漢江・錦江・洛東江。

3. 海 岸

イ、日本海方面：元山港。

ロ、黄海方面と朝鮮海峡方面：港灣島嶼に富み海上交通頻繁。

釜山・鎮海・木浦・蔚山・仁川・鎮南浦。

三 住 民

人口約一千七百萬。

内地人は三十餘萬。

四 産 業

1. 農 業・牧 畜

イ、農業は朝鮮第一の産業。

米・大豆・煙草・綿・人參。

朝鮮の風俗 (尋讀一ノ二六)

1. 家屋

2. 氣候

3. 冠禮

4. 墓草

5. 煙草

6. 婦人の外出

7. 洗濯

8. 文館教育

江の橋梁参照

第一卷鴨綠

金剛山の奇勝寫眞

朝鮮風俗寫眞

人參標本

一五

<p>ロ、牧畜：牛の飼養。牛皮。</p>
<p>2. 林 業</p>
<p>鴨綠江・豆滿江の流域にある大森林には、から松もみ等の良材多し。新義州にて製材す。</p>
<p>3. 鑛業・水産業</p>
<p>イ、鑛業</p>
<p>雲山の金山。</p>
<p>載寧の鐵山。</p>
<p>平壤附近より石炭。</p>
<p>ロ、水産業</p>
<p>ぐち・めんたい・網</p>
<p>西海岸には製鹽場あり。</p>

<p>第二學期</p>	
<p>週</p>	<p>教 授 事 項</p>
<p>一</p>	<p>五 交 通</p>
<p>1. 鐵 道</p>	
<p>京釜線・京義線。</p>	
<p>京元線・湖南線。</p>	
<p>主要なる連絡事項</p>	<p>準備事項</p>

2. 海上の交通

釜山・仁川・鎮南浦・元山等には外國航路の汽船出入す。

六 都 邑

- 1. 釜山：朝鮮の門戶。
- 2. 大邱：農産物の集散地。定期雜貨の大市。
- 3. 木浦
- 4. 群山
- 5. 京城：政治・交通の中心。城外の龍山には一箇師團をおく。
- 6. 仁川：京城の門戶。船舶碇泊安全。
- 7. 平壤：朝鮮北部の主要都市・農産物の集散地。
- 8. 鎮南浦：大同江下流の一要港平壤の門戶。鐵礦を積出す。
- 9. 元山
- 10. 清津
- 11. 羅南：一箇師團をおく。

朝鮮地方の總括地圖實習

第六 關東州 凡一時

一 位 置

滿洲の最南部なる遼東半島の南部を占む。租借地。

二 産 業

京城市街圖

東亞地圖

四

城内丘陵起伏平地少し。
 農業盛ならず。近海には漁業行はる。
 海岸には鹽を製す。
 大連にては南滿洲に産する大豆より盛に豆粕・豆油を製造す。

三 都 邑

- 1. 旅順：海軍の要港。
- 2. 大連：滿洲の門戶・市街及び港灣の設備よくととのふ。

南滿洲鐵道
 (尋讀一ノ一五)

大連市街圖

第七 大日本帝國總說 凡五時

一 地 勢

1. 山系と火山脈

山岳丘陵到る所に起伏す。
 主要なる山系は中央部より西南又は東北に向ひて列島を縦貫す。

火山脈はこれ等の山系に沿ふ。

富士火山脈は之を横きりて走る。

2. 河川・平野・海岸

河川は長さ短く急流水運の便少なし。

灌溉・發電に利用せらるゝこと多し。

1. 大連・遼陽
 2. 奉天・長春
 3. 旅順・營口
 4. 撫順支線
 5. 安奉線・東支鐵道

大日本帝國總圖

五

口、大河の下流海岸地方に平野開く。
ハ、海岸は屈曲に富み良港灣多し。

二 産 業

1. 農 業

イ、氣候温和地味肥沃農業盛なり。
ロ、農産物：米・麥・大豆・甘蔗・甘藷・茶・煙草・果實。

我が國の農業
(尋讀)二ノ一二
國産の歌(尋讀)二の二三

2. 林 業

イ、森林に富み木材を多く産出す。
ロ、木曾谷・阿里山の檜・米代川流域・吉野川流域の杉、北海道朝鮮北部のとら松・えぞ松・から松。

3. 牧 畜

牛馬。

4. 水産業

いわし・鯉・にしん。鹽・魚貝。

5. 鑛 業

石炭・銅・金・石油。

6. 工 業

イ、石炭・水力を利用し内外の原料を使用し盛に諸種の製品を出す。

少年工藝文庫石油卷銅山の巻を見よ

六

第八 アジヤ洲 凡十二時

一 總 論

- 1. 六大洲中最も大なる陸地。
- 2. 人口八億餘。
- 3. 山地と産業。

イ、パミール高原より大山脈四方に走る。
ヒマラヤ山脈雄大。主峯エベレスト山。
ロ、高原：西藏・蒙古・イラン・アラビヤ半島。
ハ、産業發達せず。

4. 低地と産業

イ、中央部の高原を下りて海岸に至る間所々に

- 1. 世界の話(尋讀)ノ二二
- 2. 1. 亞細亞大陸
- 3. 2. 印度支那シヤム
- 4. 3. 北半球南半球
- 5. 4. 三帯の氣候と住民
- 5. 5. 世界の人口

少年工藝文庫紡績巻を見よ

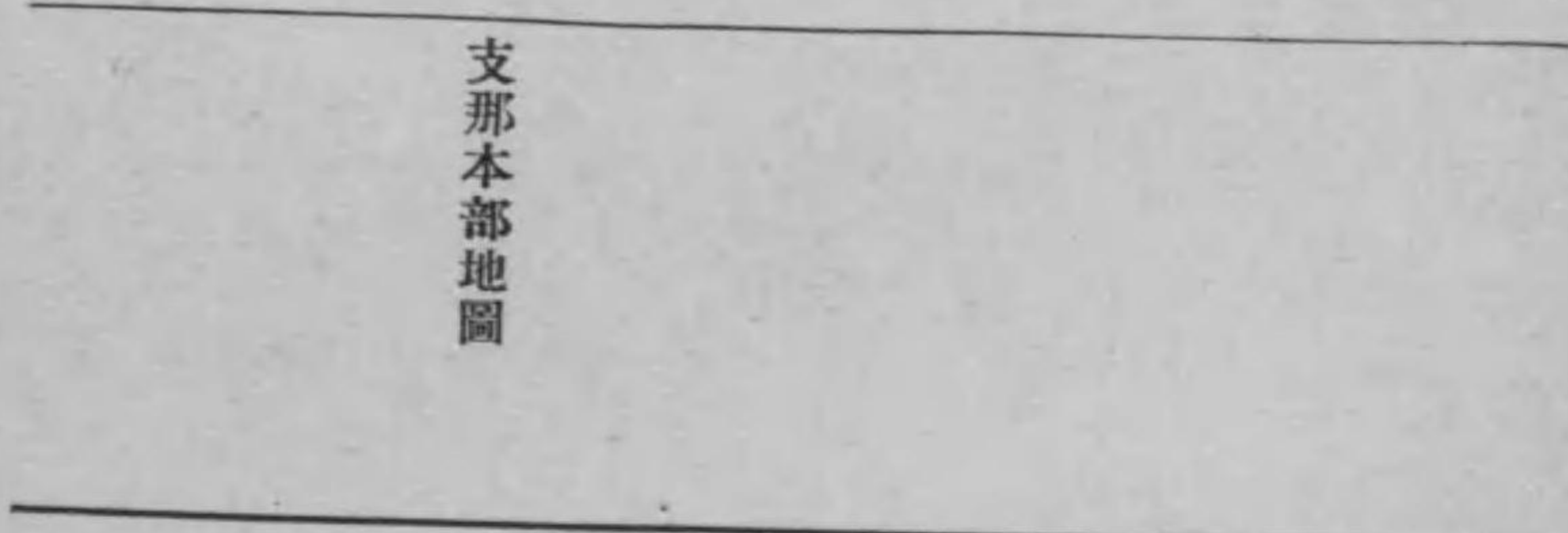
日本交通圖

アジヤ洲地圖

七

- 低地あり。シベリヤ低地最も大。
 - ロ、中アジヤ低地：裏海あり。
 - ハ、シベリヤ低地の南部：農業・牧畜發達す。
 - ニ、支那平野・印度平野：地味肥沃・農業發達・戸口密なり。
 - ホ、太平洋印度洋方面にある諸川の下流地方にも小平野あり、産業發達。
5. 交通
- イ、鐵道：印度・支那の東部に發達す。
 - シベリヤ・西部アジヤ等も漸次發達す。
 - 揚子江・ガンジス河等は交通路として利用せらる。
 - ロ、海上交通：太平洋方面と印度洋方面交通盛
 - 横濱・神戸・上海・香港・シンガポール・航路の大中心。
- 二 支那
1. 區分
- 支那本部・滿洲・蒙古・西藏等。
2. 支那本部
- イ、農業・工業
 - 北部：豆類・高粱。
 - 南部：米・茶・繭・綿。

支那本部地圖



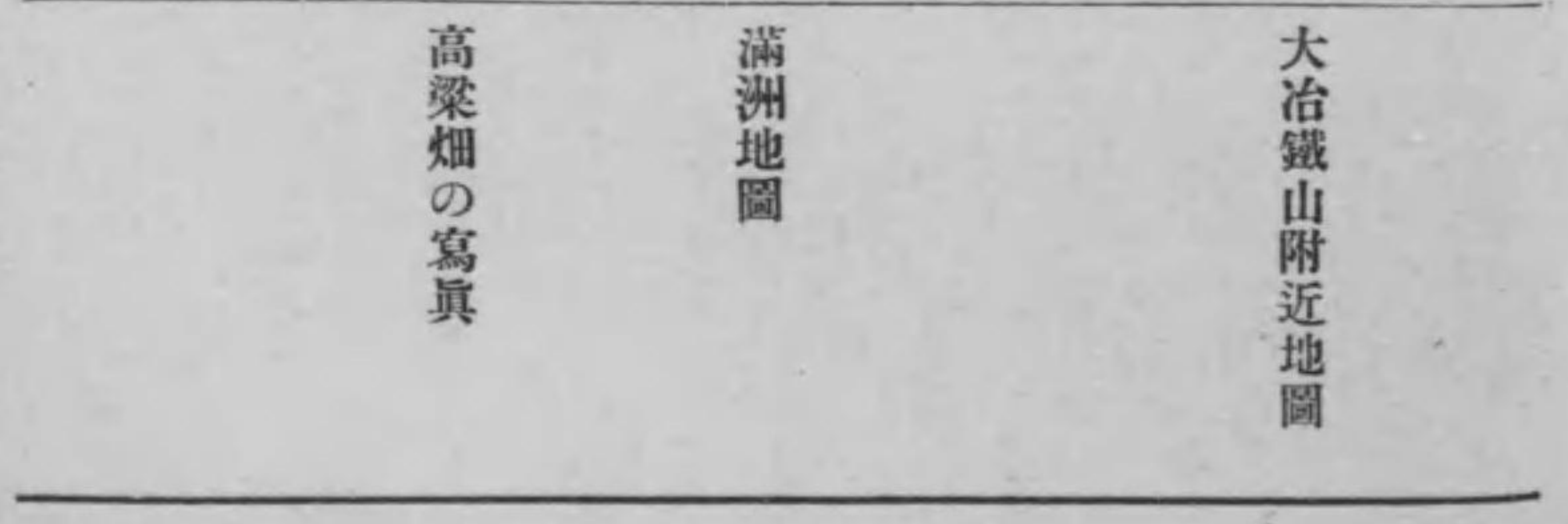
八

- 製絲・製茶業盛なり。
 - ロ、鑛業・工業
 - 石炭：萍鄉。
 - 鐵礦：大冶鐵山。
 - 製鐵業：漢陽。
 - ハ、交通貿易
 - 鐵道：京奉線・京漢線。
 - 津浦線・山東鐵道。
 - 揚子江は自然の交通路。
 - 海上の交通：上海・香港は交通貿易の大中心。
3. 滿洲
- イ、支那本部の東北。
 - ロ、東西北三方山地多く・中央部には平野あり。
 - 松花江・遼河。
 - ハ、産業・貿易
 - 高粱・大豆・小麥の耕作。
 - 豆粕・豆油・麥粉の製造。
 - 大豆・豆粕・豆油は滿洲主要輸出品。
 - 木材・馬・羊・石炭・製鹽。
 - 漁業。
- 二 交通・都邑
- 南滿洲鐵道の本線は奉天にて安奉線・京奉線と

大冶鐵山附近地圖

滿洲地圖

高粱畑の寫眞



會す。長春にてロシアの東支鐵道と連絡す。
奉天：滿洲第一の都會にして、交通商業の中心。
營口・安東：滿洲の主なる門戶・長春・哈爾濱。

4. 蒙古

内蒙古・外蒙古。
牧畜：皮類・羊毛を産す。
小麥・たうもろこしの栽培。

5. 我國と支那との關係

三 シベリヤ

1. 地勢・産業

イ、南より北に向つて低し。
ロ、シベリヤ中部以南の地：大森林。
ハ、西部大平野：麥の耕作・牧畜盛なり。
ニ、南部の山地：金銀
ホ、太平洋方面の近海・沿海の河川：さげ・ます
たら・かに等を産す。

2. 都邑・交通

イ、浦潮斯德：シベリヤの門戶・軍港・商港。
シベリヤ鐵道の起點。
ロ、イルクツク。
ハ、オムスク。

四 印度

シベリヤ地圖

印度地圖

1. 産業

農業：米・麥・綿・茶・麻。
紡織業。

2. 都 邑

イ、デリー：印度の首府。
ロ、カルカッタ：交通の中心。麻茶の輸出。
ハ、ボンベール：交通の中心。綿の輸出。
ニ、コロンボ：セイロン島にあり。印度洋の要
港。茶を輸出す。

五 東南アジア

1. 印度支那半島

米：ラングーン・バンコク・サイゴン等より輸出
す。

2. マレー半島

イ、ゴムの栽培盛。
ロ、シンガポール：世界交通の關門。

3. マレー諸島

イ、山がちにして中に數多の火山あり。
ロ、甘蔗・マニラ麻・やし等の栽培行はる。
ハ、ジャバ島：砂糖。パタビヤより輸出
ニ、ボルネオ：諸島中最も大。石油。
ホ、スマトラ：石油。

ボンベールの綿の輸出

ラングーンサイゴン
米

ゴムの採取寫眞

マニラ麻標本

ハ、フィリピン群島・マニラ麻・マニラより輸出。

アジヤ洲の總括地圖實習
第九 ヨーロッパ洲 凡八時

一 區 分

大小二十餘國に分る。

イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・イタリヤ・オーストリアハンガリー等。

二 地 勢

1. 南部・西南部：アルプ山脈・その他數多の山脈

2. 北部：スカンデナヴィヤ半島：山地多し。

3. 以上の他は平野。

4. 河川長し。水運灌溉共に便。

三 産 業

1. 農 業

イ、ロシア：本洲第一の農業國。小麦・麻。

ロ、ドイツ：甜菜・馬鈴薯。

ハ、フランス・イタリヤ：葡萄・養蠶。

2. 牧畜・林業・水産業

イ、牧畜：各地に行はる。馬・牛羊。

ロシヤ：馬。

オランダ・デンマーク・スイス：牛。バター

地圖實習は家庭課題
ヨーロッパ洲地圖

世界のノ話(尋常八ノ二二)
1. 歐羅巴大陸の諸國
2. 人口・人種
3. 歐羅巴人の特色

一三

チーゾ。
ロ、林業

ドイツ・オーストリアに發達。バルブの輸出はスエーデンが第一。

ハ、水産業：大西洋の沿海。ノルウエー近海：たらにしん・くぢら。

3. 鑛業・工業

イ、ドイツ・イギリス：世界に於ける鐵鑛・石炭の主産地。

ロ、フランス・ベルギー：鐵鑛石炭を産す。

ハ、これ等の諸國：鐵・機械の製造發達す。工業また盛なり。

ニ、工業品：イギリス・ドイツの綿絲・綿織物・機械・毛織物・船艦・化學製品。

4. 交通・貿易

イ、交通の便大にひらけ。白・英・獨・佛の諸國には鐵道縱横に通ず。

ロ、海岸線出入多し。河川の下流大船を入るゝに適す。…良港多く海上の交通盛なり。

四 イギリス

1. 世界陸地の五分の一の領土。

2. 人口四億餘。

4. 商工業盛。

一四

4. ロンドン：世界第一の大都會。

5. フランス

1. 商工業盛、絹織物・葡萄酒を輸出す。

2. パリ：首府・美麗なる市街・美術工藝盛。

6. ドイツ

1. 學術盛、商工業發達せり。

2. ベルリン：首府・學術の大中心。

7. ロシヤ

1. 農業盛なり。

2. ペトログラード：首府。交通の要地。

3. モスコ：交通の要地。

8. オーストリア

1. 農業・工業。

2. ウィーン：首府。

9. ハンガリー

1. 牧畜。

2. ブダペスト。

10. イタリヤ

1. 生絲・葡萄酒。

2. ローマ：首府。歴史の遺蹟。

3. ネーブルス港：風景美。

ロンドン市街圖

パリ市街圖

ベルリン市街圖

ヨーロッパの三大都
(尋讀二ノ六)
1. ロンドン・パリ・柏林
2. 三大都の人口
3. 三大都の特徵
4. 三大都の建築物

一五

十一 我が國と歐洲諸國との關係

1. 我が航路：フランス・イギリス・ベルギーの主要なる諸港に通ず。

2. 貿易はイギリス・フランスを主なる取引先とす。

3. 我國より銅・生絲・羽二重を輸出し、イギリスより鐵・毛織物・機械等を輸入す。

ヨーロッパの總括地圖實習

航路圖

第三學期

週	教 授 事 項	主要なる連絡事項	準備事項
一	<p>第十 アフリカ洲 凡三時</p> <p>一 地 勢</p> <p>1. 一般に高原狀・山脈は概ね海岸に沿ひて走る。内地には大小の湖水南北に並ぶ。</p> <p>2. 北部にサハラ沙漠あり。</p> <p>3. 河流：ナイル河・コンゴ河。</p> <p>二 北 部</p> <p>1. ナイル河は灌溉運輸の便に。沿岸には綿織を産す。</p>	<p>1. 世界の話(尋讀八ノ二二)</p> <p>2. アフリカ大陸</p> <p>3. 人種</p> <p>3. 氣候と住民</p>	アフリカ洲地圖

緒 論 第三尋常小學地理書卷二教授細目

二

2. カイロはナイル河平野に發達せる本大陸第一の大都會。

三 南部

1. 英領アフリカ聯邦：金・金剛石主産地・羊・駝鳥の飼養行はる。

2. ケープタウン：この聯邦の門戸。

四 交通

内地交通不便・南北縦貫鐵道完成せんとす。
スエズ運河：世界交通の幹線。

地圖實習

第十一 北アメリカ洲 凡五時

一 區分

英領カナダ・アメリカ合衆國・メキシコ。

二 地勢

1. ロッキーマウンテン：西部に南北に走る。

2. アパラチヤ山脈：東部に南北に走る。

3. 中間は廣大なる平野。南部はミシシッピ河の流域。北部は五大湖。

三 産業

1. 農業・牧畜・林業

イ、アメリカ合衆國とカナダの南部農業・牧畜業發達す。

地圖實習は家庭課題
北アメリカ洲地圖

1. 世界の話(尋讀八ノ二三)
2. アメリカ大陸
3. 人種
氣候

瀑布(尋讀一ノ一九)
ナイヤガラの瀑布

三

合衆國の平野には小麦・綿・煙草・たうもろこしの産多く、牛・豚頭數多し。

ロ、カナダ及び合衆國の東西兩部木材の産多し

合衆國の太平洋沿岸：果實西印度諸島：キ

ユバ島：砂糖の主産地。

2. 水産業

ニユーフォンドランド島近海は世界の大漁場：たら・にしん。

3. 鑛業・工業・貿易

イ、アパラチヤ山脈・五大湖沿岸地方ロッキーマ

ウン地方：鑛業盛にして、鐵・石炭・石油・銅・金銀の産多し。

ロ、東部は鐵・石炭の主産地：諸種の工業大に起り、貿易盛なり。

ハ、ニユーヨーク・フィラデルフィヤ・シカゴ・ワシントン・オタワ。

四 交通

1. 鐵道：東部地方に發達す。

2. 海外航路：太平洋方面より歐洲諸港に通ず。

イ、大西洋方面の港市。

ニユーヨーク・ボストン・フィラデルフィヤ

ニユーオールバニヤン。

ロ、太平洋方面の港市。

1. 世界の話(尋讀八ノ二二)
2. 合衆國の農業・工業・商業
3. 都會

四

パンクパー・シヤトル・サンフランシスコ。
ハ、パナマ運河。

五 我が國と北米との關係

諸港市と航路通ず。

我が國は合衆國より綿・石油・機械を輸入し・生
絲・羽二重等を輸出す。

北アメリカ洲總括地圖の實習

第十二 南アメリカ洲 凡三時

一區 分

十箇國の獨立國。

二地 勢

1. アンデス山脈：太平洋海岸に沿ふ。
中に火山脈通ず。

2. 東部にアラジール山地あり：高原狀。

3. 東西兩山地の間土地低く大平野。
アマゾン・ラブラタ二大河流る。

三 産 業

1. アマゾン流域：大森林・ゴム。

2. 氣候溫和なる高地、南部の温帯低地：農業・牧
畜。

3. アラジール・コヒー：サントス港より輸出す。

4. アルセンチン：羊毛・革類・肉類・小麦・アエ

世界の話(尋讀八ノ二二)
1. 北半球南半球の氣候
2. 人種

地圖實習は家庭課題
南アメリカ洲地圖

五

六

ノスアイレス港より輸出す。

5. ヘル・チリ：銀・銅。

6. チリ：硝石。

四 交通・貿易

大西洋方面海上交通頻繁。

太平洋方面：カリヤオ・バルパライソ等の諸港
我が國と航路通ず。

第十三 大洋洲 凡三時

一區 分

オーストラリヤ大陸、無数の島嶼。

二 オーストラリヤ

1. 東海岸地方に山脈あり、他は一般に高原狀。
内地・沙漠多し。

2. 東南部：小麦・牧畜。

羊毛・石炭・金。

3. 西南部：沙漠地方・金。

4. シドニー・メルボーン。

5. 羊毛・石炭・小麦・金等を輸出す。

6. 我が國より羽二重・綿・メリヤス等を輸出し、
羊毛・礦物等を輸入す。

眞珠採集の本邦人。濠洲の北・西海岸。

三 諸 島

同文館教育叢報第二卷智利
硝石參照

大洋洲地圖

七

- 1. ニュージーランド：牧畜・羊毛。
- 2. ミクロネシア：やしの實・燐礦。
- 3. ハワイ 砂糖：ホノルルより輸出す。
- 4. 太平洋の諸島は軍事・交通上の要地少なからず。

八

地圖實習

第十四 世界と日本 凡二時

一 六大洲

アジア・ヨーロッパ・南北アメリカ・アフリカ・大洋洲。

二 三大洋

大西洋・太平洋・印度洋。

三 我が大日本帝國

- 1. 東部アジア・太平洋沿岸の要地。
- 2. 世界二十餘國と條約を結ぶ。
- 3. 國民の奮勵を要す。

第十五 地球の表面 凡三時

一 地球の大きさ

南北の直徑凡そ三千二百里。

二 經緯線

1. 地軸：地球南北の直徑。

地圖實習は家庭課題
世界全圖

箕作博士著
史眼に映する世界大戦西洋
史講話の太平洋問題を参照
すべし

地球儀

九

山上萬次郎氏
批判地理學を参考すべし

三球儀

一〇

- 2. 南極・北極。
- 3. 經線又は子午線。
- 4. 緯線。

三 經緯度

1. 子午線：イギリスのグリニチ天文臺を通ずるものを零度とす。
東徑何度、西徑何度と數ふ。各百八十度に至る。

2. 緯線 赤道を零度とし、南緯何度・北緯何度と數へ各々九十度に至る。

四 地點の定め方

子午線・緯線をもととす。

五 晝夜・四季

- 1. 地球の自轉一日に一回轉、晝夜の別起る。
- 2. 太陽の周圍を一周す：四季の別生ず。

六 陸地と海洋

地球表面の高き所：陸地。
低き所：海洋。

世界地圖實習 凡一時

本論

第一 九州地方

其一 區分

●位置

一、九州地方は中國・四國兩地方の西南に位す。

●成立

1. 九州島：中國地方とは下關海峡・四國地方とは豊豫海峡を以て相隔つ。朝鮮支那に近し。
2. その屬島：壹岐・對馬・五島・天草等の諸島。
3. 琉球列島：點々飛石の如く西南臺灣に向つて碁布す。

●區分

一、八縣に分つ。福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・沖繩。

二、縣廳所在地：福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・那覇。

○大日本全圖を用ひて位置を授け、九州地方圖によりて區分を授くべし。

其二 地 勢

●概説

一、九州島は地形東西に短く南北に長し。海岸線の出入極めて多く、又屬島に富む。

○屬島の重なるものを問答すべし。

二、本島の中には山岳・丘陵起伏せるも、海岸の地方には所々に平野あり。

三、北部の山地には石炭を藏すること夥しく、海岸線の出入著しく、平野亦よく開く。故を以て、

1. 産業盛に
2. 交通便に
8. 都邑良港多し。

●山脈

一、九州山脈

四國山脈の續、九州島の南部を斜に走り主なる分水嶺をなす。九州南部山脈と稱せらる。

○脈中に祖母山市房山等の高峯あり。

二、筑紫山脈

中國山脈の續、九州島の北部に起伏して丘陵を爲す。九州北部山脈と稱せらる。

○筑紫山脈は石炭を藏すること夥多しく又陶土を出す。

三、阿蘇火山脈

南北兩山脈の間に阿蘇火山脈東西に走る。

1. 重なる火山：鶴見・阿蘇・溫泉。
2. 有名なる溫泉場：別府・溫泉。
3. 名勝の地：耶馬溪。

阿蘇山は阿蘇火山脈の主峰舊火口の廣大なるを以て名高し。

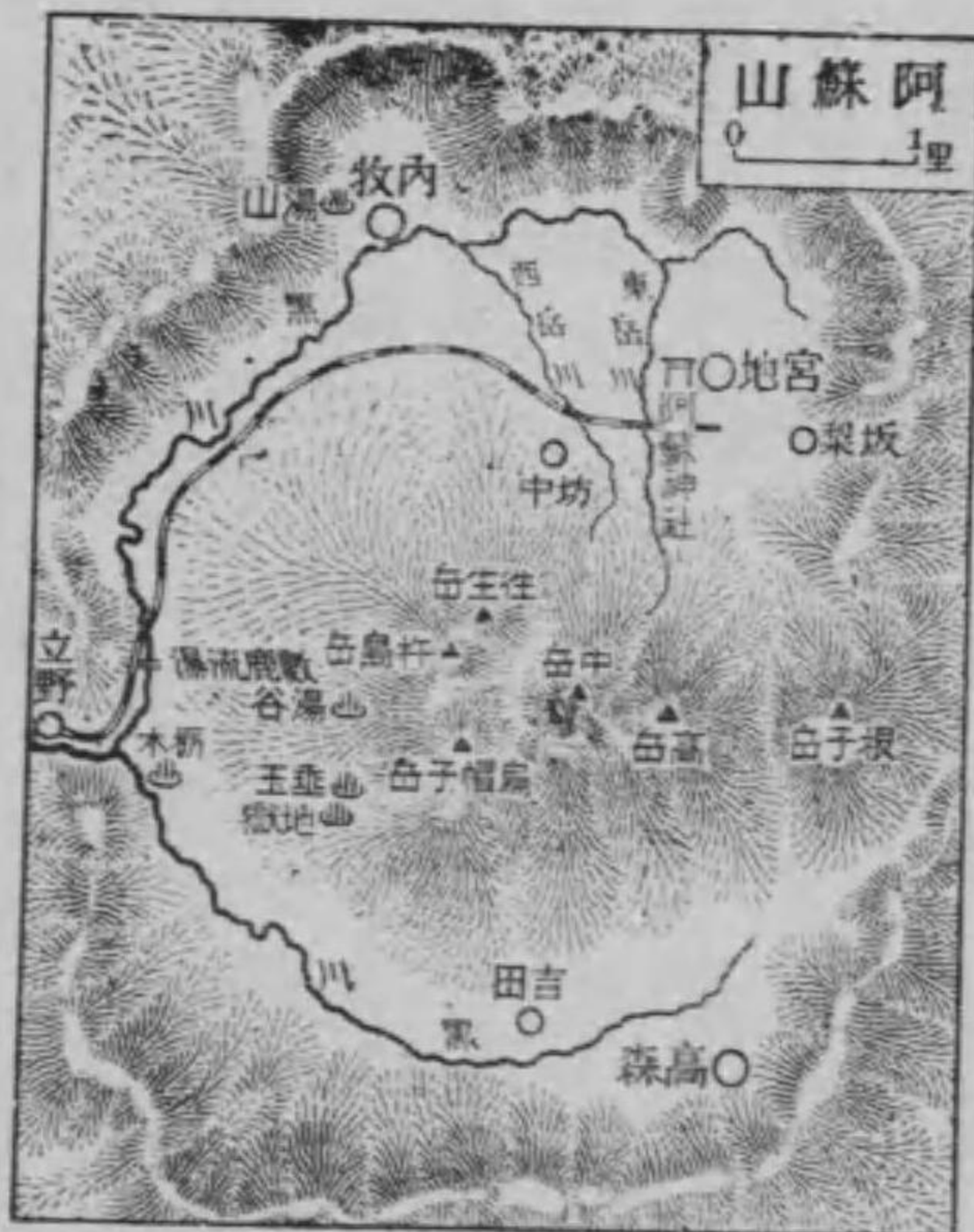
○阿蘇山は熊本市の東十一里にあり。火山としての標式最も完備せるものなり。

山峯根子岳、高岳、中岳、梶子岳、杵島岳の五岳に分れ、中岳より噴煙しつつあり。五岳を包繞して連山堵屏の如く略楕圓形を爲す。これ所謂外輪山にして舊火口壁は東西四里南北七里あり。五岳の四周の窪地は火口原にして、南なるを南郷谷、北なるを阿蘇谷といふ。阿蘇谷には宮地町、内牧町等の小都邑あり。火口

原の水は南は白川、北は黒川といひ、立野にて合し、外輪山を横ぎり白川となりて熊本平野に出づ。

挿畫 阿蘇山

手前の町は宮地町なり。この寫眞は宮地町劇場宮地座樓上より阿蘇山の全景北面を撮影せし



ものなり。町の右方の森は阿蘇神社の森、森の左に少しはなれて阿蘇神社の樓門見ゆ。

向ふに見ゆるは所謂五岳にして左方の頂上の鋸齒状を呈せるものは根子岳、次の最も高きものは高岳、高岳につゞけるは中岳、最も右方なるは杵島岳、杵島岳と中岳の中央に尖頂を僅かにあらはせるは烏帽子岳なり。この寫眞にては中岳の噴煙見え。けむりの如く見ゆるは秋雲のたなびけるものなり。

挿畫 別府温泉と鶴見岳

鶴見岳の東南麓に別府温泉場あり。

○火山と温泉との關係を知らしむべし。

畫の左方の最も高き山は鶴見山なり。その右は内山、その右の手前は扇山なり。向ふ一帶は別府町手前の鐵道は豊州線、その右方の電車は大分行なり。

四、霧島火山脈

九州島の南部にあり、南北に走り、遠く琉球島に通ず。

1. 霧島山 鹿兒島、宮崎兩縣に跨る大小二十七座の火山より成る火山群なり。韓國嶽(五千六百尺)最も高く、高千穂峰之に次ぐ。

2. 櫻島 鹿兒島灣の北部に噴出せる火山島にして、周回七里半。最近の噴火は大正三年一月十二日に起る。附近降灰甚だしく、溶岩流は大隅半島と本島との海峡を充填して半島化せしめたり。

③ 河川・平野

一、西流する河川

1. 筑後川 筑紫次郎と稱せらる。長さ三十六里、九州第一の大河なり。阿蘇山の北麓に發源し、有明海に注ぐ。下流は河道平坦にして舟楫の便あり。その兩側には廣大肥沃なる筑紫平野あり。

2. 球磨川 水流急なるを以て名高し。兩岸絶壁激流岩を噛みて瀬となり淵となり、奇勝頗る多し。人吉八代間約十六里の間舟楫の便あり。

二、東流する河川

大淀川 霧島山附近に發源し東流して日向灘に注ぐ。河口より約十一里の間舟楫の便あり。

三、平野

- 1. 筑紫平野：筑後川の下流地方、地味肥沃農産物多し。
- 2. 熊本平野：熊本縣の西部海岸
- 3. 福岡平野：福岡縣の西北海岸

④ 海岸

一、概説

九州島は海岸の出入多く、又屬島に富めり。

二、北部の海岸

1. 出入多く、到る所に良港あり。

○博多灣、唐津灣、伊萬里灣等その重なるものなり。

2. 主なる港市

イ、門司は下關海峡に臨み、下關と相對し瀬戸内海の入口を扼す。

ロ、若松は洞海の入口にあり。石炭輸出港として名高し。

ハ、博多は博多灣内にあり。北海岸主要の港市なり。

ニ、佐世保は無雙の良港、第三海軍鎮守府あり。軍事上の要地なり。

ホ、長崎は灣内水深く風波の患なく船舶の碇泊に便なり。

へ、三池は石炭の輸出港として名高し、

三南部の海岸

1. 薩摩大隅の二半島南方に突出し、鹿兒島灣をかこむ。灣入二十里。
2. 灣中に櫻島あり。
3. 灣に臨みて鹿兒島港あり。
挿畫 鹿兒島港と櫻島。

これは市の西北なる城山より東方鹿兒島市街の最も繁盛なる部分及び櫻島を望みたるものなり。
市街の中手前の最も右方に位する大なる建物その左方の附屬建物は縣廳その向ふの高き建物は郵便局縣廳の左は女子師範學校なり。その直上海中に長く見ゆるは防波堤なり。港外には第二艦隊の軍艦數隻浮べり。

○櫻島は周圍十里餘今は大隅との間熔岩にてうづめられ一半島と化せり。山は海底火山にして三個の噴火口南北に竝列す。北なるは北岳中央は中岳南方は

南岳といふ、畫の左方の最も高く見ゆるは北岳なり。その右は中岳南岳なり。南岳の鹿兒島市に面せる麓の小丘は袴腰にして、その上及び右は大正三年一月の大爆發の際流出せし熔岩なり。櫻島の最右方遙かに見ゆるは大隅の山脈なり。

四、屬島

1. 西北にあるもの。

イ、壹岐

ロ、對馬

日本海と東支那海とを分つ。

2. 西にあるもの。

イ、五島・中通^う・宇久^く・奈留^な・久賀^く・福江等主なるものなり。

ロ、天草・犬矢野島・上島・下島等を主なるものとす。下島最も大なり。

3. 南にあるもの

薩南諸島・琉球列島と共に長く東北より西南に連る。

其三 産業

●農業・林業

一、九州島は氣候温暖にして米・麥・甘藷・菜種などの農産物を産すること多し。

1. 米は北部の諸平野に多く産し、良質の稱あり。

○福岡平野 筑紫平野 熊本平野を有する福岡佐賀熊本は多く米を産す。

2. 麥は福岡・熊本・大分・長崎・鹿兒島等主要なる産地なり。

3. 甘藷は鹿兒島・沖繩・長崎・熊本等を主産地とす。

4. 菜種は福岡・鹿兒島の二縣に多し、九州地方の菜種の産額は全國産額の約三分の一。

二、北部にははぜの實、南部鹿兒島灣沿岸には煙草の産多し。

1. はぜの實：木蠟を製す。福岡縣最も多く産し、大分・熊本之に次ぐ。
2. 煙草：鹿兒島縣の煙草は品質優良なり。大隅の垂水・薩摩の出水地方を主産地とす。

○垂水地方のものは國分煙草と稱せらるゝものなり。

三、東南部宮崎・鹿兒島の山地よりは林産を出すこと少なからず。

○樹木の種類は松・杉・樅・梅・樟等なり。

○この地方到る所廣き竹林あり、竹材を出すこと頗る多し。

●牧畜

九州島は我が國に於ける牛馬の主産地にして其の飼養は中部以南の諸縣に盛なり。

○馬は鹿兒島・熊本に多く、牛は鹿兒島・大分に多し。

●鑛業

一、北部にある福岡・佐賀・長崎の三縣は、我が國にて炭坑業の最も盛なる地方にして、石炭の産額は我が國總産額の過半を占む。

二、福岡縣の遠賀川流域並びに三池附近は炭坑業殊に盛なり。

○筑豊炭田は我が國の大炭田なり。三池・唐津の炭坑また有名なり。

三、鹿兒島縣より金を産す。

○鹿兒島縣の金産地は山ヶ野・三井串木野・岸ヶ野・大口等の金山なりとす。

●工業

一、北部海岸地方は石炭の供給容易、海陸の交通便利、従つて工業著しく發達せり。

第一九州地方

二、門司より若松に至る一帯の地方は我が國の一大工業地區を爲す。

1. 八幡に官設の製鐵所あり。

挿畫 八幡にある製鐵所

明治二十九年製鐵所官制制定せられ同三十年告示尋で土地買収及び土工に著手し三十四年二月第一鎔鑛爐の點火式を行ひ、五月に製鋼作業を開始したり。漸次擴張以て今日に至れり。

敷地は九十八萬二千二百四十六坪(大正七年一月現在)

所内の組織は五部三課：工務部、銑鐵部、製鋼部、鋼材部、經理部、庶務課、鑑査課、研究課これなり。外に臨時建設部あり擴張工事に關する事務を司る。職員約五百(本所のみ)職工約一萬四千あり。

原料鐵鑛には支那湖北省大冶鐵山、朝鮮黃海道載寧及び殷栗鐵山其他内地各地のものを用ひ、燃料は自己經營の二瀬炭山の石炭を用ふ。挿畫は煙突林立し、煤煙空に漲り、幾多の宏大なる建物あり、規模宏大なる八幡の製鐵所の外觀をあらはしたるものなり。左方に高く見ゆるは熔鑛爐のある所なり。八幡停車場の直上煙突の多くある所

がこの熔鑛爐なり。

2. その他製鍊場、砂糖藥品等の製造場頗る多し。

○門司の淺野セメント株式會社門司支店、大里の日本金、鹽株式會社大里製鍊所、大日本製糖株式會社大里工場、帝國麥酒株式會社、小倉の東京製鋼小倉製鋼所、戸畑の旭硝子、牧山工場、戸畑鑛物株式會社、東洋製鐵株式會社、若松の三重沃度工場等一々あげて數ふべからず。

3. 有田の製陶 有田町及び其の附近は佐賀縣製陶の中心地なり。

○有田町の陶器は伊萬里より輸出したるより伊萬里焼ともいふ。

挿畫 有田にある陶器製造所

この工場は香蘭合名會社なり。男職工の左は菓子井を造りつゝある所、その右は菓子鉢の高臺(底)を削るところ、第三の職工は花瓶をつくりつゝあり向ふの方の數人は電氣化學用の磚子をつくりつゝあるなり。女職工は男工の削りたる磁器には削り目ありて見苦しければ普通の布に水を含ませて拭ひ滑かにする所謂水拭ひを爲しつゝある所なり。

手前の製作品最も左方の三は花瓶、右は手火鉢、その右の小煙突の如

きは大碍子その右の最も手前にならべるは菓子鉢何れも生造りなり。

有田町に於ける陶磁器製造年額百四十四萬二千餘圓。香蘭會社は年額三十萬圓餘。内地は京都大阪東京外國は米英南洋支那印度等に販路を有す。

4. 長崎の造船 三菱造船所

5. 久留米の絣織 久留米絣と稱す。井上でんの創意にかかる。久留米絣は絲質染色共に優良なり。

○ 現今久留米絣の主産地は福岡縣三浦三井八女の三郡なり。久留米市及び浮羽郡よりも産出す。

6. 大分縣の疊表

○ 主産地は大分縣東國東郡にして、速見大分西國東の諸郡にも産す。

○ 工業品の産額は最近統計によりて數量價格を調査し教授の際利用することを忘るべからず。

五 水産業

一、近海は水産物に富む。

二、長崎縣：錫、支那に輸出す。

○ 五島附近は捕鯨業盛にして五島鯨と稱せらる。

三、鹿兒島縣：鯨節を産す。

四、有明の海の北岸：牡蠣の養殖

五、西方海中：珊瑚。

○ 長崎縣の五島附近に最も多く之に次ぐものは鹿兒島縣とす。

其四 交通

● 鐵道

一、門司を起點として各地に通ず。

1. 鹿兒島線 門司より福岡熊本を經て鹿兒島に至る。

○ 二三八・八哩あり。

○ 大畑驛ループ線は有名なり。



○吉松より宮崎線分る。

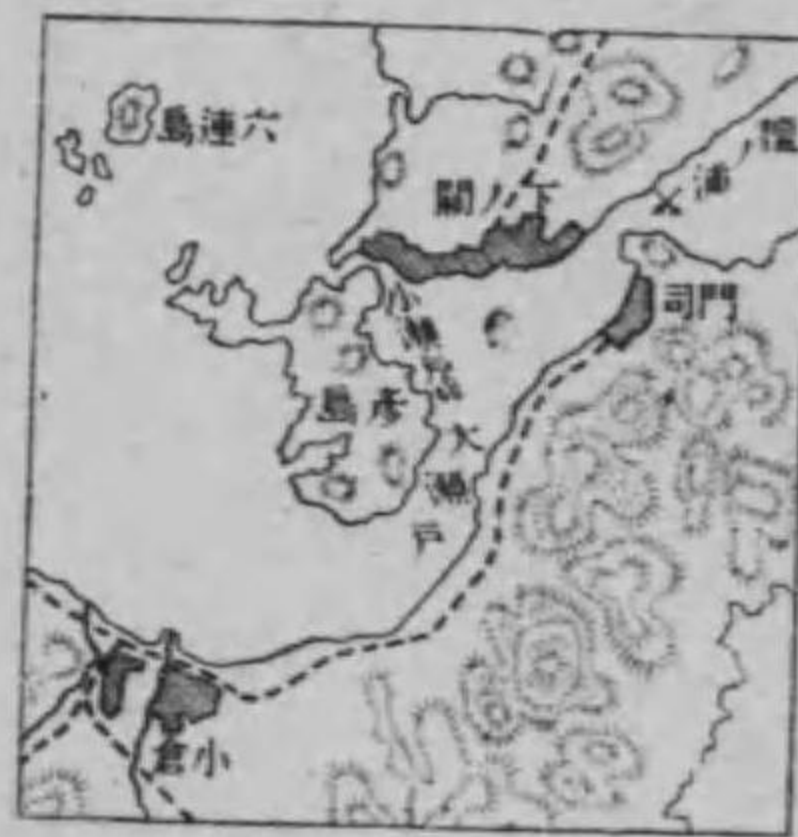
2. 長崎線 久留米の北(鳥栖)にて鹿兒島線に分れ、佐賀を経て長崎に至る。

3. 豊州線 東北部の海岸に沿ふ。

○小倉にて鹿兒島線と分る。

4. 炭坑多き遠賀川の流域には数多の鐵道あり。

二、九州線と山陽線との連絡便利なり。



海陸交通の燒點九州地方の玄關

海上の交通

一、北部海岸には海上の交通盛にして主なる港には外國汽船も出入す。

門司には内外数多の航路集れるが故に船舶の出入多し。

○九州の門戸、本州九州の連絡點にして交通の焦點なり。

二、長崎の附近よりは支那及び浦潮斯德に海底電線通す。

長崎は古は外國交通唯一の門戸西洋文化の吸収口なり。今も市況盛なり。

其五 都 邑

福岡縣の都邑

一、門司(人口 萬 千)。

1. 九州の最北端に位し關門海峡を隔て、下關に相對し瀬戸内海の咽喉を扼す。

2. 海陸交通上及び軍事上の要地なり。

3. 石炭輸出港として名高し。

○明治二十三年開港場となり急速に發達す。

二、小倉(人口 萬 千)。

1. 門司の西七里の所にあり。第十二師團の所在地なり。

三、八幡(人口 萬 千)

宏大なる製鐵所あり。

○既授の事項を問答すべし。

四、若松(人口 萬 千)

1. 八幡より洞海を隔て、若松あり。

2. 筑豊炭田の石炭輸出港なり。

3. 鐵道は炭山に向つて通ず。

○港灣改修市街繁盛を極む。

○交通の所の挿畫はここにて利用すべし。

挿畫 若松港

本圖は若松停車場後方の丘陵より中島戸畑の方面をながめたるものなり。向岸の家の見ゆるは戸畑なり。其の凸端より本市への最近距離を兩市町に於て渡船を經營せり。戸畑の手前左方に見ゆる

は河斛島(中ノ島)なり。二本の大煙突のある所は鐵道院機關車庫工場なり。

港の船は石炭積み出しの船舶にして陸に輻輳せる貨車は石炭運搬用のものなり。その盛況を想像すべし。

○若松港出入船舶 大正六年度港灣統計によるに汽船三九八〇艘四三六八五二

四噸帆船一〇一八九一艘四四六八八五六噸

○輸出移出石炭量大正七年度六八一四一六八噸

五、福岡(人口 萬 千)

1. 九州島北部の主要なる都市なり。福岡平野の中心を占め博多灣に臨む。

2. 福岡博多の二部より成る。

○福岡の方は官街多く博多の方は商業盛なり。

3. 商業盛なり。

○博多織・博多人形等はこの地の特産品なり。

4. 縣廳の所在地なり。

- 5. 九州帝國大學あり。
- 6. 東公園・西公園あり。

附近には史上の名地多し。福岡の東南に太宰府神社あり。菅原道真を祀る。

○二日市驛より下車して參詣するを便とす。太宰府神社は官幣中社にして境内梅樹多し。附近に太宰府の遺址あり。
○歴史にて學びし所を問答すべし。

六、久留米(人口 萬 千)

- 1. 筑後平野の要部を占む。
- 2. 久留米耕の本場なり。

○久留米耕は今より百二十餘年前井上てんの織り出せるものなり。地質強く染色の褪色せざるを以て名高し。この地を中心として三藩・八女・浮羽・三井諸郡に多く産す。

七、三池港

- 3. 第十八師團司令部の所在地なり。

- 1. 有明灣頭にありて三池郡三川町に屬し大牟田市を距る南方約一

里の所にあり。

- 2. 石炭の輸出港なり。

○三池港は三井礦山株式會社が四百餘萬圓の資金を費して築港したるものなり。三池炭坑の石炭を輸出す。

○三池炭礦區は福岡縣大牟田市三池郡及び熊本縣玉名郡の一市二郡に跨り、東西約五里の幅員を占む。

○現今採炭坑は六坑にして大浦坑・七浦坑・宮浦坑・勝立坑・宮の原坑及び萬田坑これなり。

挿畫 三池の一大炭坑(萬田炭坑)

萬田堅坑の坑口の大きさは幅十二尺長さ四十一尺坑深八百九十六尺あり。第二坑は坑深八百八十尺坑口幅十二尺長さ二十七尺半あり。中央のやぐらは第一坑石炭巻揚機なり。その左の建物はまきあげ機械室なり。その左のやぐらは第二坑にして人馬諸材料の昇降用の堅坑なり。その左の建物は選炭場なり。第一坑のやぐらの右の高き建物はデビーポンプ室なり。大ポンプ四臺あり。その右の長き建物は汽罐室なり。デビーポンプ室の手前は鍛冶場なり。手前

のレールは三池港に至る電車の軌道なり。
左向ふに見ゆる山は三池山なり。

八、大牟田(人口 萬 千)

1. 三池炭坑の發展と共に繁華の度を加ふ。
2. 附近に石炭の大産地あり。
3. 三井鑛山經營の諸工場より亞鉛工業用藥品鑛山用諸機械を産出す。又電氣化學工業會社の工場あり。工業盛なり。

◎佐賀縣の都邑

一、佐賀(人口 萬 千)

1. 筑紫平野にある主要都會なり。縣廳所在地なり。
2. 農産物を集散す。

○米穀の集散盛なり。

二、唐津(人口 萬 千)

唐津炭田よりの石炭を輸出す。

○海水浴場として名高し。

◎長崎縣の都邑

一、長崎(人口 萬 千)

1. 天然の良港なり。古來名高き開港場なり。

○東北南の三方山をめぐらし西方に向つてひらく。風穩に港廣く水また深し。風光明媚氣候また温暖なり。

2. 縣廳所在地。

3. 宏大なる造船所あり。

挿畫 長崎にある造船所

三菱造船所は長崎港の西海岸西泊灣より水ノ浦に至る一帯の地を占め造船工場・造機工場・船渠等皆この内にあり。其の面積七萬三千八百十七坪を有す。尙目下工事中の工場用地一萬七千六百八十二坪の埋築成るの日は其の面積九萬一千四百九十九坪海岸線を有すること二十六丁五十參間の長きに互る。社宅用地其の他の工場附屬地等を併せば二十萬六千六百九十四坪に及ぶ。

この畫は第三ドックを寫せるものなり。前方の海は長崎港の一部その向側は長崎市の一部分なり。

第三ドックは明治三十八年三月開渠せしものにてその總長七百二十八呎九吋、盤木上の長七百十四呎、渠口上部の幅九十六呎七吋、渠口下部の幅八十八呎七吋、盤木上満潮時の深さ三十四呎六吋あり。最大満潮時に於ける水積七萬一千二百四十噸(三九八九四石)之を排水するに三個の電働ポンプありて四時間最小満潮時に於て三時間二十五分を要す。

ドックの中の大なる汽船は大正六年三月二十日船底塗替のため入渠せる修繕船にして和蘭汽船スマトラ號なり。(長さ三九四呎五吋、總噸數五八五〇噸)。小なるは同日入渠トロール船西京丸なり。(長さ一二一呎二吋、總噸數二五五噸)。渠口の左側の小建物中に三箇のポンプを有する排水装置あり。その手前の長き建物は倉庫それより向ふに連なれる稍大なる建物は造船部に屬する木工場なり。その左方の小高き所の建物の下なるは高等船員宿泊所上なるは占

勝閣にして進水式その他にて宮殿下及び貴賓の御宿所にあつる所なり。右方レールは工場内に敷設せる鐵道にして職工の運送材料の運搬用に供す。延長十哩十分毎に運轉す。

二、佐世保(人口 萬 千)

- 1. 長崎線早岐驛より鐵道分岐して佐世保に至る。
- 2. 軍港：第三海軍鎮守府の所在地なり。

○既授の事項を問答すべし。

○佐世保は港灣優良にして位置上より見ても支那に對し樞要の所なり。

④熊本縣の都邑

一、熊本(人口 萬 千)

- 1. 熊本平野の中心都市なり。
- 2. 熊本城：第六師團

○熊本城は加藤清正の築きし所なり。

- 3. 縣廳所在地なり。

二、八代

球磨川の下流のほとりにあり。町にセメント会社あり。

○八代の附近坂本村に製紙場あり。又境町には窒素肥料会社あり。

⑤ 鹿兒島縣の都邑

鹿兒島(人口 萬 千)

1. 九州島南部の主要都會にして、良港を爲す。

東に櫻島火山を望む。

○既授の事項を問答すべし。

2. 縣廳所在地なり。

○鹿兒島市は後に城山を真ひ前に錦江灣をへだて、櫻島に對す。灣は水深く風穩に形勢頗る佳なり。薩摩燒薩摩餅を産す。

薩南諸島

大島を主要地として甘蔗を産す。

⑥ 宮崎縣の都邑

一、都城(人口 萬 千)

1. 霧島山の東南都城盆地の中心都市なり。

2. [附近産物の集散地なり。

二、宮崎(人口 萬 千)

1. 大淀川の下流に臨む。縣廳所在地なり。

2. 官幣大社宮崎神宮は町の北二十町にあり。神武天皇を祀る。

挿畫 宮崎と大淀川

大淀川に架せる橋橋長さ二百二十二間(橋畔より、向岸中村を望めるものなり。下流の鐵橋は宮崎線のものなり。

⑦ 大分縣の都邑

一、大分(人口 萬 千)

1. 別府灣の南岸大分平野の中心を占む。

2. 縣廳所在地なり。

二、別府(人口 萬 千)

1. 別府灣に臨む。後に鶴見山を負ひ風光明媚なり。

2. 溫泉場として有名なり。

○浴客頗る多く、市内繁昌を極む。大分市は銀行諸會社多く、別府は遊覽的都市に

して雑沓す。

3. 海陸交通共に便なり。

三、宇佐

1. 宇佐神宮のある所なり。

○官幣大社にして宇佐驛より參宮鐵道に乗りかへ西方約一里に達す。

○和氣清麿の事蹟につきて問答すべし。

佐賀關

久原氏所有の大なる製鍊所あり。瀬戸内海一帯の鑛山より採掘せる鑛石を運搬し製鍊す。半島の突端なる山上に大なる煙突あり。

○煙突の高き基礎上五十五呎、頂上内徑二十六呎三吋、基底内徑四十二呎あり。

其六 琉球列島

●位置・地勢

一、薩南諸島と臺灣島との間に飛石の如く點在せる大小五十有餘の島より成る。

二、沖繩島最も大にして南北の長さ三十餘里幅廣き所五里狭き所一里あり。

○那覇を距る西南凡そ百里の海中に宮古列島あり。それより更に六十里を距つる西南海中に八重山列島あり。

三、地勢 大半は丘陵起伏して高山なく大河なく平野に乏し。

●氣候・産物

一、氣候甚だ溫暖にして四季の區別殆んどなし。嚴冬の候と雖も降雪を見ることなく草木青々として春の如し。

雨量多し。一年の三分の二は雨天といふべし。

二、甘蔗の栽培盛にして粗糖の製出多し。甘藷及び豚の産出また少からず。

●都邑

一、那覇(人口 萬 千)

1. 縣廳所在地なり。沖繩島南部の西岸にあり。

○鹿兒島を距る海路三百六十九哩三日目に達することを得。

- 2 縣下第一の商工業地なり。
- 3. 物産吞吐の要津なり。

挿畫 那覇港

港口より首里の方面をながめたるものなり。市街は那覇の一部分、市中の木立には松・ガジマル等多し。向ふの高地は首里附近の高地高は凡そ百メートルあり。高地の上まで畠ひらけ甘蔗甘藷を栽培す。

海中の岩石の如きものは珊瑚礁なるも數年前築港の際取り去られて今はなし。又石垣煙突は沖繩監獄のものなれども、是亦築港擴張の際取り去られたり。

近くスヽキの如き植物はこの邊の海岸に多く野生する「あだん」なり。

二、首里(人口 萬 千)

- 1. 那覇の東方一里十町地勢高燥にして丘陵起伏す。
- 2. 舊主尙氏の城下たりし所なり。

第二 臺灣地方

其一 區分・地勢

● 區分

一、位置

琉球島の西南にあり。我が南方の要鎮なり

二、成立

- 1. 臺灣島と澎湖諸島等より成る。
- 2. 臺灣總督府：臺北にあり。

● 地勢

一、概説

臺灣島はその形南北に長し。約百里。東は太平洋、西は臺灣海峡を隔て、支那に對す。澎湖諸島はこの海峡にあり。

二、山脈・海岸

- 1. 臺灣島は木の葉狀の中央より稍東に偏し南北に走れる一條の大

山脈あり。臺灣山脈といふ。一萬尺以上の高峯三餘あり。本島の分水嶺をなし高峻を極む。

2. 新高山：一萬三千餘尺。我が國第一の高山なり。

○山容・四近殆んど同高の高山峙つ。明治三十六年明治天皇の御命名舊名はモリソン山なり。

○主山 一三、〇七五尺 北山(斗六新高)一二、七六〇尺 南山(臺東新高)一二、七六三尺 東山一二、八一六尺 西山一一、六九八尺 前山一〇、七〇六尺あり。

挿畫 新高山

本圖は大正二年一月一日阿里山の塔山開農臺(海拔八千三百餘尺の山地)より白雪を戴ける新高山の初日出を撮したる寫真によれるものなりといふ。

中央の小高く見ゆるは新高主山その左方一段低きは新高東山更にその左方は新高北山なり。主山の右方の高きは新高南山、主山の右前方に見ゆるは新高西山なり。左方の高き樹木はタイワンツガなり。右方の森林は檜林なり。

3. 山脈かくの如くなるを以て東部は山地、その海岸は絶壁を爲せる

所あり。

4. 西部は傾斜緩漫にして大平野を形成す。

三、海岸

1. 屈曲少になく、良港乏し。

2. 基隆、打狗等あるに過ぎず。

四、河川

1. 淡水河 長さ二十四里河流臺北附近に至り緩となり、下流舟運の便あり。

○潮汐は河口より七八里の臺北の上流まで影響す、五六十噸の汽船臺大稻埕より淡水迄約五里間を通ふ。

2. 濁水溪 長さ三十九里本島第一の長流なり。河水常に混濁す。

3. 下淡水溪 長さ三十六里灌漑の便あり。又水力を電気事業に利用す。

五、西部の平野

1. 地味肥えて諸種の農産物を産すること多し。

○米・茶・甘蔗・落花生・煙草・果物等を産す。

2. 工業も漸次盛大に赴く。
3. 交通便なり。縦貫鐵道より支線多く平野を横斷せり。従つて戶口密、臺灣地方總數の九割餘を占む。

其二 住民・産業

●住民

- 一、人口三百數十萬あり。大正六年十二月末には三百六十四萬六千五百二十九人を算す。
 - 二、土人は十餘萬、山地に住し、未だ開けず。
 - 三、其の他の多數は支那より移住せる支那民族にして、概ね平地に住し、農業・商業等を營む。
 - 四、移住の内地人、次第に増加、十五萬に及ぶ。北部地方に多し。
- 挿畫 臺灣土人と其の住家
この生蕃の住家は臺北を距る約五里屈尺蕃ラライ社内にして、海拔

七百尺餘の山中なり。茅屋二戸は住家前にある低き長方形の建物は穀倉なり。後方の山林には檜・椎類の木多し。穀倉の前に繁茂せるは芋麻なり。

上圖右は男左は女なり。男は顔面の額と頸部に刺墨を施せり。耳朶を貫きて竹裝の耳飾を篋め頸部に貝製及珠の頸飾を巻き、シャツの上に麻布の上衣を著け、方形の布を肩より平に掛け兩端を背の上方に結び袈裟の如く前に垂れたり。女は顔面額と頰部口の周圍より耳側まで刺墨あり。頭部に巻けるは黒布にして左右の耳元にて飾りをなす。頸に巻けるは頸飾にして、珠・牙・角・貝等を以てつくる。支那風の上衣を著し、方形の布を袈裟の如く斜に胸邊に掛く。

●産業

一、概説

1. 全島二分の一は熱帯圏内にあれど島地なるを以て海洋性を帯び、他の熱帯地方の如く炎熱甚だしからず、たゞ夏季長く五月より暑氣を感じ十月に及ぶ。

2. 雨量多し。春夏の候に少なく秋冬の候に多し。
3. 檜がじまるびんらうじ等繁茂して森林を爲す。

○がじまるは榕樹の一種なり。びんらうじは熱帯性の樹木にして房をなして葉の間に簇生する果實は薬用又は食用に供せらる。

4. 諸種の農産物の産出甚だ多し。家畜には豚、水牛等あり。

二、農業

1. 農業は臺灣第一の産業なり。

2. 米：中部以北の平野に多く、年二回の收穫あり。

3. 茶：中部以北の平野に多し。ウーロン茶に製し海外に輸出す。

○支那米國シヤバ、スマトラ等に輸出せらるゝもの多し。

4. 甘藷 農民必須の食用作物なり。

5. 甘蔗 中部以南の平野を主産地とし、各地の製糖工場にて盛に之を粗糖に製して内地に送る。粗糖は本島第一の産物なり。

挿畫 製糖工場

明治製糖株式會社の一工場臺南廳下の蕭壩工場にして臺南市街の

北約五里の所にあり。

建物最左端事務室その右機關室その後方修理工場その後方砂糖倉庫その右乾燥室俵裝室その右の高きものは結晶室分蜜室その右は清淨室蒸發室その右は甘蔗運搬室壓搾室なり。高く見ゆるは煙突なり。前面には甘蔗畑より運搬し來れる甘蔗多くあつまれるを見るべし。

6. 落花生、バナナ、パイナップル等の栽培盛に行はる。

三、林業・工業

1. 林業：阿里山は檜その他の良材を出す。

挿畫 阿里山の檜林

阿里山の森林は明治三十二年の發見にかゝる。森林面積一萬一千百町歩餘東西三里南北八里あり。

この畫は嘉儀を距る四十餘哩の萬歲山に於けるものにして、直径二尺四五寸より三尺位樹齡二百四五十年を経たるものなり。明治四十三年四月より伐採し、森林鐵道により嘉儀製材工場におくる。

2. 製材工場：嘉儀にあり。阿里山林木の製材を爲す。頗る盛なり。
 3. 樟腦：本島の特産なり。
- 挿畫 樟腦工場

本畫は宜蘭廳下南方蕃地鹿皮ルンペンにある一腦蕈の内部を示せるものなり。腦蕈は茅葺にて一時的の小屋なり。前面の木片は樟腦樟腦油をとり出したる木片なり。竹籃のごときものは腦籃油籃と稱し、製品をブリキ罐に入れ更に籐製籃の中に入れてたるものなり。積み重ねられたる白き長方形のものは製品を木綿袋に入れて垂板に載せ油水分を分離せしめつゝあるものなり。又三個の煙突形の桶は甌にして其下に鍋をかけたる灶カマあり。甌よりは長き管出で、水槽の中に伏せある箱に通ぜり。箱の上には絶えず笕あり水を落して之を冷却せしむ。

○樟の根幹葉を小さく割り大桶に入れかまの上にかけて下より熱を加へて蒸餾す。その蒸氣を三四間の長さある竹筒内を通して水の充てたる水槽中に導く、蒸氣は冷却せられて結晶すこれをよせ集め四角の塊とし、中の凹みたる大舟の上にならべ水分をたらす。

畫の左方に立てるは腦丁なり。中央の二人は検査員なるべし。

四、鑛業

1. 金、銅：金爪石より産す。
2. 金：瑞芳より産す。
3. 基隆の附近の地より石炭を産出すること頗る多し。

五、其他

1. 西海岸より鹽を産す。(天日製法による。)
2. 又各地にて夏帽子を製造す。

其三 交通

● 鐵道

一、臺灣西部西平には鐵道發達す。その幹線は基隆を起點として南方に走る。縦貫せり。

○基隆より臺北臺中嘉義臺南を経て打狗に至る二四六哩あり。

二、支線數多あり。

○淡水線、阿羅線、宜蘭線、阿里山線等は支線の重なるものなり。

三、臺灣山脈の東にも亦南北に通ずる鐵道あり。

●海上の交通

一、東海岸は山岳海にせまりて絶壁を爲し、良港灣なし。西海岸は砂濱連り遠淺を爲し、海上の交通不便なり。

二、基隆、打狗の二港は港の設備ととのひ航路こゝより内外の諸港に通ずるを以て船舶常に輻輳す。

○内地線、沿岸線、南支那線、北支那線、南洋線等あり。

其四 都 邑

●基隆(人口 萬 千)

一、本島の東北隅に位し、臺灣第一の良港なり。

二、内地との連絡點、縦貫鐵道の起點なり。

三、附近には石炭、金等の産出あり。

四、米、樟腦、樟腦油を積出すこと多し。

挿畫 基隆港

基隆港に入る右岸の繫船岸にて備後丸が載荷を起重機にて積み取る狀況なり。右岸に見ゆる建物は第二上屋倉庫にしてレールの上に立てるは電氣起重機なり。左の汽船は笠戸丸なり。

●臺北(人口 萬 千)

一、基隆の西南十八哩淡水河の右岸に臨み、城内、^{マシカ}大稻埕の三市街より成る。

二、政治、商業、交通の中心なり。

○臺灣總督府あり。臺北廳あり。鐵道は三方に通ず。

三、製茶の業盛なり。

挿畫 臺北の市街

總督府新廳舎階上より臺北公園を中心としてその附近を寫せるものなり。右前に見ゆる建物は民政長官々邸煉瓦造二階建なり。中央部は臺北公園にして二萬三千餘坪、運動場、噴水、音樂堂等あり。噴

水の左の建物は博物館なり。博物館より右の方道路をへだて、宏大なる臺北醫院あり。向ふの山は大屯山彙なり。
 ○官幣大社臺灣神社は臺北市街の東北約二十町の所にあり。北白川能久親王をまつる。

③淡水港(人口 萬 千)

- 一、淡水河の河口にあり。臺北を距る十三哩鐵道の便あり。又淡水河によりて水運の便もあり。
- 二、製茶の輸出港なり。

④臺中(人口 萬 千)

- 一、中部臺灣の中心市場なり。臺北を距る鐵路一〇〇哩あり。
- 二、臺中廳あり。商工業次第に發展す。

⑤嘉義(人口 萬 千)

- 一、臺北を距る百六十二哩、臺中と共に本島中心市場なり。
- 二、附近の地製糖業盛なり。阿里山事業の發展にともなひ商業盛なり。

○阿里山線：嘉義より阿里山まで四六哩營業線は八哩九にして他は森林鐵道なり。

⑥臺南(人口 萬 千)

- 一、臺北を距る二百哩、臺中より九哩。
- 二、臺南廳あり。物貨集散商業盛なり。本島南部の中心都市をなす。

⑦打狗(人口 萬 千)

- 一、本島西海岸唯一の良港なり。
- 二、砂糖米等を積出すこと多し。

⑧阿緞(人口 千)

製糖工場あるを以て知らる。臺灣に於ける製糖業の一中心なり。

⑨花蓮港(人口 千)

- 一、基隆の南方九十四哩の所にある。
- 二、附近の内地人の村落次第にひらけ、甘蔗を産す。

⑩馬公(人口 千)

- 一、澎湖諸島は低き岩がちの島々より成る。澎湖島は其の最も大なるものなり。
- 二、馬公は澎湖島にあり。海軍要港なり。

第三 北海道地方

其一 區分地勢

●區分

一、位置

1. 我が國の東北邊に位し、北海道本島とその東北に連れる千島列島とより成る。

2. 北海道廳は札幌にあり。

○北海道は我が國北方の藩屏なり。

●地勢

一、山脈

1. 北海道本島は菱形の主部とこれより西南に突出せる半島部とより成る。

2. 蝦夷山系…本島の主部を南北に走り

千島火山脈…東西に走り千島列島に連る。兩者相會する中央の地勢高峻にして本島の大部分水嶺を爲し、旭岳その他の火山多し。

○旭岳は海拔七千百〇八尺本地方第一の高山なり。

3. 那須火山脈…本州よりのび來りて本島の半島部に通ず。半島部には火山多し。

イ、駒が岳 駒が岳砂原岳隅田盛等の總稱にして内浦灣頭に大なる坐席を占む。普通に駒が岳と呼ぶは火口の西南壁を爲せる尖峯を指すものなり。

挿畫 駒が岳と大沼

大沼公園より駒が岳を望みたる景なり。

大沼は駒が岳の西南麓にあり小沼と共に

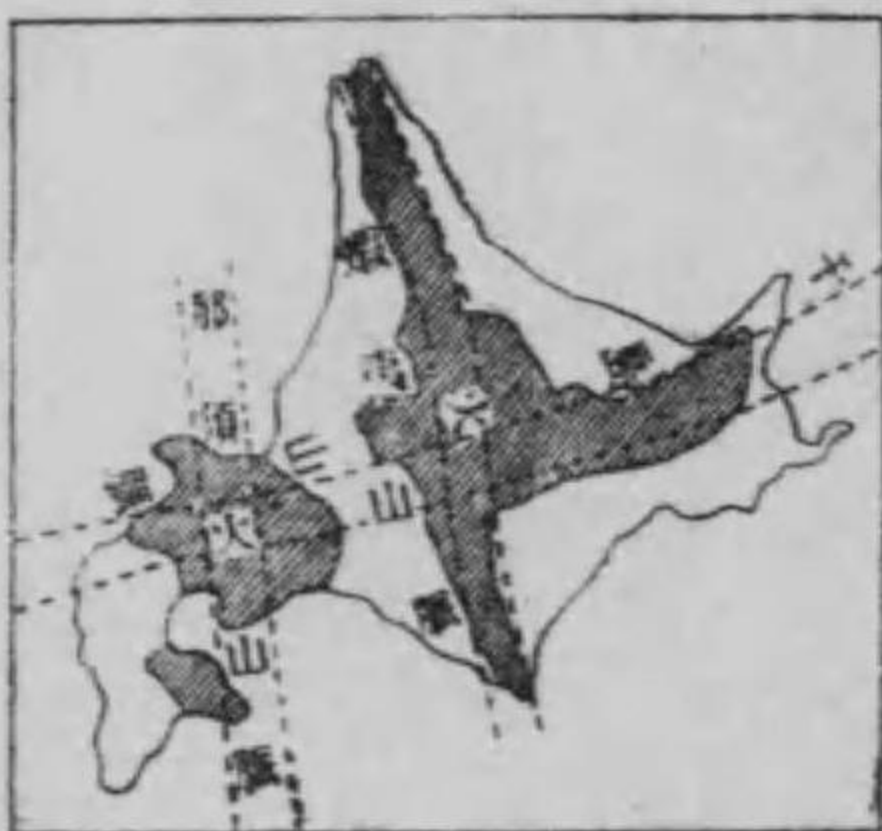
瓢形をなし、中央二沼の水相通ずる所をセバツト稱し、汽車は鐵橋に

よりにて此處を通過す。湖中島嶼百二十餘翠松繁茂景色頗る佳なり。

駒岳火山は大沼の北東内浦灣頭に大なる坐席を占むる、駒が岳砂原

岳隅田盛等の總稱にして火口の主なるもの三あり。駒が岳火口は

長徑一千米短徑七百米あり。火口中に大小の爆發火口ありて硫汽



を噴出す。普通に駒岳といふはこの楕圓形火口の西南壁をなせる山峯をいふ。畫の左方の尖峯これなり。

ロ、まつかり岳 形狀殆んど完全なる圓錐形を爲し山容秀麗蝦夷富士といふ。

二、河川平野

1. 蝦夷山系千島火山脈は本島中央部にて交叉し、河水の分水嶺を爲す。

2. 北流するもの：天鹽川

○天鹽岳に發源し流程七十八里沿岸所々に盆地あり。

3. 東南に向ふもの：十勝川

○十勝岳に發源し、十勝平野に出て、太平洋に注ぐ。

○十勝川の本流支流の灌漑たる十勝平野は地味肥沃開拓盛に行はる。

4. 西南に向ふもの：石狩川

イ、石狩岳に發源し、上川盆地を貫流し石狩平野に出て、日本海に注ぐ。

ロ、長さ九十三里(九十二里二十八町)舟楫の便あり。

ハ、石狩平野は本島第一の農耕地にして、住民割合に多く、都會ひらけ、交通また發達せり。

三、海岸

1. 海岸線は單調、出入に乏し。半島部に内浦灣あれど、砂濱なり。そ

の他の所も砂濱遠く連なれるを以て天然の良港も亦まれなり。

2. 重なる港：函館・小樽・室蘭・根室等。

其二 産業

● 概説

北海道地方は古來主としてアイヌ人の住せし所にして、戸口少なかりしが、維新後他の地方よりこゝに移住をすゝめ、意を開拓に用ひたるため、今や人口百數十萬に上り、各種の産業大いに進歩せり。

● 水産業

一、四面海をめぐるし、且近海には寒流・暖流の流るゝありて魚族多く、水

産業盛なり。

○世界の三大漁場の一と稱せらる。

二、水産物

海より…にしん、いわしたらいか、ほたてがひこんぶ。
河川より…さけます。

三、これ等の水産物は或は乾し、或は鹽漬、罐詰等にして、内外各地に送る
○各種水産物産額を最近統計表によりて具體的に示すべし。

挿畫 北海道本島に於けるにしんの陸揚

漁獲せし鯨を陸揚する光景なり。木製の「もっこ」を背にせる人夫舟より鯨を受けとり收容室に運ぶ。後腹を裂き卵をとり出して他の箱に入る。(數の子)。内臓をとり去りたる後は前面に見ゆる棚の上にて乾燥す。

三、農業、牧畜

一、冬季寒氣やゝ強くして、もとは農業盛ならざりしが、近時開拓歩を進むると共に、所々の平野にはこの業廣く行はるゝに至れり。

二、農産物の重なるもの…豆類、麥類、馬鈴薯等の産出多く、近年米の産額

も次第に増加するに至れり。又本島の西南部より苹果を産出す。

○最近の統計表により具體的に兒童に示すべし。

三、太平洋方面の原野は雨少くして、牧畜に適し、馬の飼養盛なり。

四、林業

一、森林多し。原生林なり。えぞ松とど松等は木材として各地に輸送せらるるのみならず、苦小牧にて紙の原料たるバルブに製す。

二、北部海岸地方にてはどろの木にてマッチの軸木を製す。

五、鑛業

一、石炭 本道鑛産物中の最も主なるものにして、石狩平野の東にある山地を主産地とし、室蘭より内外各地に積出さる。

○石狩炭田は本道全産炭の九割を占む。石狩炭田の外後志、天鹽、釧路等にも炭田あり。

○石炭の集散地は主として室蘭にして約六割を占む。小樽之に次ぐ。この二港には石炭積込のため高架棧橋を設け特殊の装置によりて迅速に積込む設備あり。

二、硫黃 諸火山に産す。膽振、後志、渡島等その主産地なり。

工業

石炭
水力

兩者の使用便利—工業各地におこる。

札幌：麻絲、ビール。
苦小牧：洋紙、バルブ。
室蘭：製鋼所。

挿畫 苦小牧にある製紙工場

苦小牧の王子製紙會社の分工場。手前の鐵道は木材運搬用の軌道、山積したる材木はとど松蝦夷松なり。長さ二間位にきり皮をはぎたるものなり。向ふに見ゆる工場はバルブ及び製紙工場なり。右方の塔は水槽塔その右及び左の二棟は抄紙室、水槽塔の手前に見ゆるは化學試驗室その右は壺木室、左の煙突の後方は蒸解室、最も左なるは電力變壓室なり。

○左の煙突は高さ百五十尺右なるは高さ百八十尺あり。

○水槽塔は苦小牧川上流の水を引きて一旦この塔に引きあげ工場各所に配水する装置なり。

○本工場は明治四十三年九月の開業なり。全國新聞紙の七割は本工場の供給する所なりといふ。

挿畫 室蘭にある製鋼所

下圖は室蘭區字母戀にある日本製鋼所室蘭工場の全景なり。前方丘陵を切りぬける間より室蘭の市街見ゆ。丘陵の右方海に突出せるは石炭積込用の高架棧橋、その手前は製鋼所構内の埠頭なり、その端に百噸起重機あり。

工場は機械工場、燒炭工場、鍛鍊工場、鑄造工場、鍛冶工場、模型工場等十餘區に區分せらる。

上圖は機械工場にて仕上職工が六吋砲の仕上げを爲しつゝある所なり。小なるは三吋砲なり。

○製品 海陸軍用砲、その他各種機械構成材料等。

○高架棧橋の高さ水面より六十三尺海に突出すること約千八百八十四呎、船舶四艘同時に碇繋し得。鐵道院の設定、明治四十四年に完成せるものなり。

其三 交通

鐵道

一、函館 鐵道連絡船の發著地

北海道鐵道の起點

二、我が國鐵道の幹線の一部を爲すもの

1. 函館線 函館より小樽、札幌を経て旭川に至る。

2. 釧路線 旭川より釧路を経てその東方海岸に走る。

三、支線：重なるもの

宗谷線：旭川より北に向ふ。

室蘭線：岩見澤より室蘭に至る。

●海上の交通

一、近海は季節によりて霧深く又流水ありて海上の交通さまたげらるること少なからず。

二、函館・小樽・室蘭等の諸港には船舶の出入常に自由なり。

○函館と小樽とは本島に於ける航

路の大中心なり。本州地方のみ

ならず樺太・浦潮斯徳にも航路通



挿畫 小樽港

小樽港の一部分なり。前面の一線は北突堤にして四千二百五十尺あり。左に高架棧橋見ゆ。延長九百五十二尺高さ二十八尺あり。右方海岸に通ずる大なる街路は中央通、その手前は小樽中央停車場なり。

○小樽區の繁昌せる所を示せるもの全区の約二分の一をあらはす。

其四 都 邑

産業交通の進歩と共に都邑も増加し、石狩川沿岸の平野と南部の海岸地方とはその數少なからず。

○石狩沿岸及び南部地方は、東部地方よりもひらけ、平野あり、海岸の出入多く良港あり、農産豊かに、鑛山あり、交通は便に且つ本州に近し。隨つて都會多し。

●函館(人口 萬 千)

一、函館灣に臨む。本州より北海道本島に入る大關門なり。

○後に山を貫ひ水深く風波の患なく、大船巨船を碇泊するに便に眺望佳地形神戸

に似たり。

二、本島物貨の吞吐地、殊に水産物を輸出す。

○水産物は昆布、鰯等を重なるものとす。

三、航路 本州樺太、浦潮斯徳に通ず。

○既授の事項なれば航路は問答すべし。

①小樽(人口 萬 千)

一、西海岸第一の良港なり。樺太、浦潮斯徳に航路通ぜり。

二、商業盛木材を輸出すること多し。

②札幌(人口 萬 千)

一、石狩平野にあり。北海道地方の中心都市なり。

北海道廳あり。北海道帝國大學あり。

○政治學問の中心なり。

二、農産物を集散し又諸種の工業も盛に行はる。

○麻布、ビール等を産す。

○商工業の中心なり。

三、交通便なり。

○全道交通の中心なり。

挿畫 札幌の市街

前面は札幌の市街の東西に貫通せる大通火防兼逍遙地にして其幅五十八間あり。兩側は人道中央は牧草を以てつくれる芝生なり。

市民の逍遙地たるに適するやう區費によりて經營せらる。

明治初年本道開拓に功勞ありし黒田清隆の銅像あり。その右手前に開拓記念碑あり。

この大通右は北にして左は南なり。記念碑より道を隔て、右方の高き建物は稅務監督局なり。

左方の山は圓山なり。前面向ふの連山は後志山塊に屬する山岳なり。

④旭川(人口 萬 千)

一、石狩川上流の上川盆地の中心都市なり。

二、第七師團の所在地なり。

三、交通の要地なり。

⑤、室蘭(人口 萬 千)。

一、噴火灣の東北岸に位し、地形佳良風波の患なし。

二、石狩炭田の輸出港なり。

三、水陸交通便なり。

○東海岸鐵道の起點。函館・青森等との交通便なり。

六、釧路

釧路川の口にあり。東海岸の要港なり。

其五 千島列島

一、北海道本島根室の北にある國後島より北東に三百餘里にわたりにて、飛石の如くつらなる、三十餘の島々より成る。東北端は占守島にしてロシア領のカムチャッカ半島と相對す。擇捉島最も大なり。

二、氣候寒冷平野少く、住民極めて少し。

三、この列島には、さけますの産出多く近海には、おっとせいらっこ等すめり。

第四 樺太地方

其一 區分

一、北海道本島の北に位す。東はオホーツク海に臨み、西は間宮海峽を隔ててロシア領シベリヤに對す。

二、島は南北に長く全長凡そ二百六十里、東西の幅最廣約四十里、最狹凡そ七里。北半は露領南半は我國に屬す。

挿畫 日露の國境と境界標

北緯五十度線を以て日露の國境とす。明治三十九年七月より翌年九月までの間に於て境界劃定す。五十度線下の島の幅三十三里餘あり。境界は森林を伐採し林空を設け、その東西兩端及びその中間に二ヶ所即ち合して四個所に天測境界標をたてたり。天測境界標は先づ地を掘ること八尺餘ベトンで以て地盤を固め、上に花崗石の平盤面上正確に方位を示す十字を彫刻したるものを載せ之を掩ふに高さ約三尺の土層を以てし、更にその上に高さ凡そ二尺の花崗石

柱をたつ。標石の南面には我が皇室の菊花紋を凸彫し、更にその上に大日本帝國その下に境界と凹刻し、北面には露國帝室の紋雙頭の鷲その上に露西亞その下に境界に相當する露國文字あり。又標石の側面の一方には天第何號明治三十九年と二行にあらはし、他の側面には露國文字にて第何號の天測點なるかを示せり。本圖は天測第四號のものなり。

三、樺太廳は豊原にあり。

其二 地勢

●海岸

一、樺太地方は其の形南北に長く、南部と北部とには半島の突出せるありて、各内に一灣をいだく。

○東に北知床岬突出して、多マライカ来加灣を擁し、南に中知床岬、西能呂岬相對して、亞庭灣を抱く。

二、これ等兩灣のある外、海岸線は灣入に乏し。随つて良港なし。

●山脈・河川

一、樺太山脈はこの地方の西部を南北に走り、其の東には北部にも南部にも之と並びて走れる小山脈あり。

二、これ等東西兩山脈の間には低地横たはり、北に幌内川、南に鈴谷川あり。

○幌内川は露領に發源し南流する本地方第一の大河なり。

三、南の低地はこの地方の中にて開拓の進める所にして、こゝに豊原大泊の二都會あり。鐵道も亦この低地を南北に通ず。

其三 産業

●概説

一、樺太地方にはアイヌ・ギリヤクなどの土人あれどその數少なし。

○アイヌ族 西南部を始めとし東西海岸地方に住し、漁獵に従事す。

○ギリヤク族・オロチヨン族は幌内川の沿岸に居り、漁期には河畔に出て、流し、冬は山中に入りて獵す。

二、他より移住するもの次第に増加し、人口約七萬、開拓また随つて進歩せり。

●農業・林業・工業等

一、農業 この地方は北方にかたよりて、冬季長く寒氣強きが故に、地味肥沃なる低地にも農業未だ盛ならず。

二、森林業 山林多し全島面積約三分の二を占む。とど松、えぞ松、から松などの木材の産出多し。

○樺太の森林 教育叢報第五巻を見よ。

三、工業 大泊豊原には製材及びバルブ製造盛ならんとす。

四、鑛業 所々に石炭を産す。

●水産業

一、近海には水産物多ければ、水産業盛にしてこの地方第一の産業となり、漁期には他の地方より來りて之に従事するもの甚だ多し。

○水産業は本島の生命なり。

二、重なる水産物：にしん、ます、たら、かに等。

内外各地に送らる。

○鱈は本島第一の漁獲物にして各地海岸に漁獲せらる。最も西海岸に多し。鱈は東海岸を主とす。蟹は全海岸より産す。蟹はタラバガニと稱する一種の蟹にして西南海岸に産し、雄詰に製せらる。昆布は西海岸、南海岸等に多し。

挿畫 樺太に於ける棒だらの製造

棒鱈を製するには鱈を脊より三枚に卸し、頭部及脊部を去り、之を清水にて洗ひ、日光に晒して乾燥す。圖は二段の横木を結びたる棒を地上に立て、竹竿を横にわたして三枚に卸したる魚をほしつゝある所なり。

三、海豹島にはおつとせい繁殖せり。

挿畫 海豹島のおつとせい

海豹島の海岸砂地におつとせいの群集せる有様をうつせるものなり。夏季本島に來り寒冷におもむくや、金華山沖、犬吠岬沖あたりへ游泳し去る。六月頃分娩育兒のため本島に群集す。

其四 都邑交通

樺太地方は都邑尙未だ多からず。その主なるものは、大泊・豊原・真岡なり。

●大泊(人口 萬千)

一、樺太地方の玄關口なり。

1. 内地との交通の要衝なり。

航路はこゝより小樽・函館等の諸港に通ず。

2. 鐵道はこの地を起點とす。

二、水産物の集散地なり。

●豊原(人口 萬千)

一、南部平野の中心地を占め、樺太地方の中心都會なり。

二、樺太廳のある所なり。

挿畫 豊原の市街

大通を南より北に向つて望みたるもの。街路幅十六間あり。

●真岡(人口 千)

一、西海岸の主なる港。本島唯一の不凍港なり。

二、附近は漁業盛にして真岡は海産物の集散地なり。

第五 朝鮮地方

其一 區分

●位置

朝鮮半島は北より南に突出して日本海と黄海とを分ち南は朝鮮海峽をへだてて九州地方に對し、北は鴨綠江・豆滿江等によりて滿洲及びシベリヤと境せらる。

○東…日本海を隔てて本州島と對す。

○西…一帯黄海に瀕す。

○南…朝鮮海峽を隔て、九州島に對す。

○北…滿洲シベリヤに連る。

●區分

- 一、朝鮮半島とその屬島とその屬島とを占めて十三道に分たる。
- 二、朝鮮總督府は京城にあり。

其二 地 勢

●山脈

- 一、朝鮮半島の北部は南部よりも山地多く、北境には白頭山を主峯とする長白山脈あり。其の他の大部は高原状をなし、南にかたむきて、日本海の海岸にせまれり。
- 二、南部には日本海の海岸に沿ひて南北に走れる大白山脈あり。其の南部より一支脈出づ。之を小白山脈といふ。大白山脈中の金剛山は風景の美なるを以て名高し。



○金剛山は朝鮮第一の名山なり。

挿畫 金剛山の一勝地

金剛山中外金剛の萬物相の一部分をうつせるものなり。萬物相は温井里の西にあり。奇峰左右よりせまり來り、その溪谷は深さ約三里あり。圖中右は三仙岩の一左は萬相岩なり。この間は通路なり。樹木は五葉松、楓樹なり。

- 三、大白山脈は主要なる分水嶺をなせども東にかたよりて走れるが故に、日本海方面は急に傾きて河川、平野にとぼしく、黄海方面と朝鮮海峽方面とは、之に比すれば地勢ゆるやかにして、大河多く、其の沿岸には平野少なからず。

●河川

- 一、鴨綠江 白頭山より發源し、黄海に注ぐ、長さ百八十里。氣船は義州まで來る。

○上流は森林地、木材は下流へ運ばる。

- 二、豆滿江 白頭山に發源し、鴨綠江と反對の方向に流れ、日本海に入る。

三、大同江 河幅甚だ廣し。河口は一大江灣をなし、黃海に注ぐ。

四、漢江 黃海に注ぐ。舟楫の便あり。

五、錦江 沿岸ひらけたる沃野あり。黃海に注ぐ。

六、洛東江 朝鮮海峽に注ぐ。

以上諸川の沿岸の平野には農業盛にして都邑多く、交通も亦便利なり。

◎沿岸

一、日本海方面 山地海岸にせまり、斜面急斷崖絶壁を爲せる所多く、海岸線の屈曲に乏し。

良港灣少なければ、元山の外良港まれなり。

○真興灣中に元山あり。

○日本海岸には島嶼も少し。

二、黃海方面と朝鮮海峽方面 港灣島嶼に富み、海上の交通頻繁なり。

重なる港 朝鮮海峽方面：釜山及び軍港鎮海

黃海方面：木浦、群山、仁川、鎮南浦等。

挿畫 釜山

畫面に見ゆるは釜山の中央部なり。汽船の横付になり居るところは關釜連絡棧橋なり。汽船は關釜連絡船なり。鐵道は此處より左方に見ゆる大通の左側釜山停車場に達す。左方の大建物は釜山停車場階上は鐵道ホテルなり。中央道路の右側の洋館は釜山税關の建物なり。

○棧橋の根元の所は税關監視所、その手前は税關附屬の倉庫、その左方の大建物は税關本所なり。

○前面島の如く見ゆるは赤崎半島にしてその先に五六島見ゆ。

○棧橋は長さ百六十一間餘の突堤幅十八間餘あり。

其三 住民・産業

◎住民

一、朝鮮地方の人口は約一千七百萬。朝鮮人その多數を占む。

二、内地人はなほ三十餘萬に過ぎず。

◎産業

一、概説

1. 朝鮮地方は寒暑共に強く、冬季河川に結氷する所あり。
2. この地方は古來樹木の保護少かりしかば、森林は鴨綠江・豆滿江の流域にある外、甚だ少なし。
3. 平野には農業廣く行れ、原野には牧畜所々に行はる。殊に南部の海岸地方は氣候溫和にして雨量も少からざれば、最も農産物に富む。

二、農業

1. 朝鮮第一の産業なり。
2. 米・大豆・麥の耕作を主とし、米は釜山・群山より、大豆は釜山より積出さるゝ額少なからず。
3. 煙草・綿は中部以南の地方に、人参は開城附近に栽培せらる。

○朝鮮人参 教育叢報第五卷参照。

三、牧畜

牛の飼養最も盛なり。牛皮の産出多し。

○牛は農業に使用し、運搬にも用ひ、又食用とす。

四、林業

1. 林野七割三分の面積あり。特殊保護なかりしため、全道禿山曠野・滿目荒涼を極む。近時林業の奨励あり、漸次面目を改めんとす。
2. 鴨綠江・豆滿江の流域に大森林あり。から松もみ等の良材多く、兩江を下して之を朝鮮各地に送り、鴨綠江の河口に近き新義州にては盛に之を製材す。

挿畫 新義州にある製材所

新義州にある朝鮮總督府榮林廠の直營製材所の一部分第一工場の光景なり。第二工場は左方にあるも見えず。

煙突の左下の建物は鍛工場及木工場にて工場使用の器械器具を修繕する所、煙突の右方に黒く側面を見せたるは製函工場にて各種の箱類の小形の板類をつくる所なり。

その右方幾様かのバラックは製材倉庫なり。その右方の稍大なる建物は事務室なり。遠景の山々は鴨綠江の對岸滿洲の山々なり。

手前は池なり。鴨綠江本流より分流せしめたるものにして貯材所

なり。

五、鑛業

- 1. 中部には所々に金鐵を産する鑛山あり。
- 2. 最も名高きもの

イ、雲山の金山

○もと米人と韓廷宮内府との共同經營なりしが今は東洋合同鑛業会社の經營なり。

ロ、載寧の鐵山

○もと韓國政府の經營現今は農商務省の所管なり。

○鐵鑛は多くは八幡の製鐵所に送らる。

3. 平壤附近よりは石炭を産す。

○平壤無煙炭は山口縣徳山海軍煉炭製造所に供給せらる。

六、水産業

1. 近海には魚類多く、ぐちめんたい、鯛等を産す。

○めんたいは鱈の一種なり長さ一尺五六寸、灰白色にして蒼黄色の斑紋を有す。

其四 交通

一、鐵道

一、幹線

釜山より京城に至る京釜線：二七四哩九

京城より新義州に至る京義線：三一一哩

兩線相連りて幹線を爲し、南部及び西部の平野を貫きて縦走す。

二、この幹線は釜山より鐵道連絡船によりて下關に連絡す。

○下關釜山間は一二二哩十一時間半を要す。晝夜二回出船す。新義州よりは滿洲の我が安東線に接続して世界交通の重要な幹線をなす。

三、支線の主なるもの

1. 京元線：京城より元山に至る。一三八哩四。

○表朝鮮と裏朝鮮との連絡。

2. 湖南線：大田より木浦に至る。一六一哩三。

●海上の交通

近海には春夏の候霧深くして、交通をさまたぐることもあり。されど主なる港には船舶の出入常にしげく、釜山・仁川・鎮南浦・元山等には外國航路の汽船も出入して貿易行はる。

其五 都 邑

●南部の都邑

一、釜山(人口 萬 千)

1. 朝鮮海峽に臨み朝鮮の門戸にあたる。

○西北一帯は山東南は海赤峙半島絶影島にいだかれ水深く風波の患なし。

2. 交通頻繁なり。

○内地との交通の連絡點、黄海と日本海との連絡點。

○縦貫鐵道の起點なり。

3. 内外貨物の出入甚だ盛なり。

○沿岸漁業の根據地

二、大邱(人口 萬 千)

1. 釜山の西北、洛東江沿岸の平野にあり。

2. 京釜鐵道中間の要驛なり。

○釜山へ七七哩京城へ一九七哩。

3. 附近は有名なる農産地にして、農産物を集散す。

○米・大豆・棉花・煙草等を産す。

4. 定期に雜貨の大市開かる。

○春秋二回三十日間に互りて開市あり。

挿畫 大邱の市場

大邱には毎月五日の日三の日等時を定めて附近農民及び製作品販賣の商人等街路に露店を出す。春秋二回大市あり。米・大豆・綿布・魚類・牛皮等の賣買盛なり。

本畫は西門市場の一部をあらはしたるものなり。遠景の山は八公山なり。

三、木浦(人口 萬 千)

- 1. 西海岸の要港なり。米、棉花等を輸出す。
- 2. 湖南鐵道通じ交通便なり。

四、群山(人口 萬 千)

- 1. 錦江の南岸にあり。
- 2. 西海岸主要港にして米穀の輸出多し。

二 中部の都邑

一、京城(人口 萬 千)

- 1. 朝鮮半島の中央部にある漢江の下流に臨む。西南の一隅を除く外四面山によりて包まる。東西三十町南北二十四町あり。大部は城壁をめぐらす。
- 2. 政治の中心：總督府以下主なる官衙の所在地なり。



- 3. 交通の中心：京釜線・京義線の連接點なり。又鐵道仁川にも通じ。元山にも通ず。

- 4. 城外の龍山には一箇師團を置く。

挿畫 京城の市街

この畫は京城の東南總督府所在地附近の臺地より北面してうつしたるものなり。

左方の山は仁王山、右方は白岳・北漢山なり。

京城は朝鮮の政治、經濟、交通等の中心なり。



仁川は京城の支關なり。

二、仁川(人口 萬 千)

1. 京城の門戸にして相距ること二十五哩。
2. 港内水浅く、潮の干満の差も甚だ大なれども、港の設備次第にととのひて船舶の碇泊安全となれり。

○西海岸の中心、この地方第一の開港場なり。
○下關より五百三十哩。

三、北部の都邑

一、平壤(人口 萬 千)

1. 朝鮮北部の主要なる都市なり。
2. 大同江の北岸に位し、後に大城山を負ひ東南に肥沃の大平野を控へ、京城鐵道の要驛なり。
3. 多く農産物を集散す。

○水陸交通便なり。

二、鎮南浦(人口 萬 千)

1. 平壤の西南三十五里大同江の河口に近き所にあり

○大同江下流の北岸に位す。江口より十二哩。河幅一哩水深三十尺乃至七十尺。

2. 大同江下流地方の一要港にして、平壤の門戸に當る。

○西北海岸唯一の良港、灣内廣く水深し。

3. 多く鐵鑛を積出す。

三、元山(人口 萬 千)

1. 日本海岸唯一の良港なり。
2. 開港場にして仁川釜山と共にその名早くよりあらはる。
3. 沿海漁業の根據地なり。

四、清津(人口 千)

1. 日本海岸北方の要港なり。
2. 雜貨農産物の集散地。

五、羅南

1. 清津の西南三里の所にあり。四圍山をめぐらす。
2. 一箇師團を置く。

第六 關東州

○位置

一、滿洲の最南部なる遼東半島の南部を占め、支那本部の山東半島と相對して黃海と渤海灣とを分つ。

1. 東南……黃海

2. 西北……渤海灣

二、此の地は我が國支那より租借す。旅順關東廳をおく。

●地勢産業

一、域内丘陵起伏して平地に乏し。

二、海岸は屈曲著しく良港灣に富めり。

三、平地少なく従つて農業盛ならず。されど近海には漁業行はれ所々の海岸にては鹽を製す。

○魚類は網鱈に秋刀魚等なり

挿畫

天日製鹽を示せるものなり。結晶せる鹽をかきあつめつゝある所

なり。左方は鹽田の整理を行ひつゝあるなり。またむかふに小高く見ゆるは鹽を堆積したるものなり。

この作業を爲しつゝある多くは支那人なり。

四、大連にては南滿洲に産する大豆より盛に豆粕・豆油を製造す。

●旅順(人口 萬千)

1. 關東半島の南端にあり。丘陵重疊して四面を擁し、西に老鐵山東に黄金山あり。内に一小灣を抱く。港は東西凡そ二十七町南北約十五町。港は東西二部に分かる。
イ、東港。港面狭しと雖も水深く大小の船舶岸に接し



て碇泊することを得。

ロ、西港： 廣けれども水浅く大船巨船の碇泊に便ならず。

二、旅順は明治二十七八年の役に我軍に占領せられ、又明治三十七八年の役に我が猛烈なる攻撃にあひて陥落せり。故を以て周圍に激戦の跡少からず。

○日露戦役について問答すべし

三、海軍の要港。

四、關東廳の所在地なり。

●大連(人口 萬 千)。

一、滿洲の門戸に當る。市街及び港灣の設備よくととのへり。

二、南滿洲鐵道の起點。内外航路の要港

三、商工業甚だ盛なり。

1. 我が内地へ……大豆・豆粕。

2. 内地よりは……線織物・綿絲。



○南滿洲鐵道の本線は大連より北進して長春に至る。延長四百三十七哩五あり。支線奉天と安東間百七十哩七分。その他營口線、撫順線等の支線あり。

挿畫 大連港に於ける大豆・豆粕の積出し。

大連港埠頭の一部分なり。圓板を積み重ねたるが如く見ゆるは、豆糟にして糞入のものは大豆なり。雨露を防ぐために被覆せられたるもの多く見ゆ。

第七 大日本帝國地理概説

●地勢

一、山系と火山脈

1. 日本列島は其の形細長く、山岳丘陵到る所に起伏す。大河なし。平地少なし。
 本州の中央部は地勢高峻一萬尺以上の高峰少なからず。
 ○重なるものを列舉せしむ。

2. 重なる山系はこの中央部より西南又は東北に向ひて列島を縦に走り、列島は自ら數箇の弓状を認がけり。

3. 火山脈はこれ等の山系に沿ひて走るもの多けれども、又富士火山脈の如く之を横ざりて走るものあり。

○日本列島の重なる山脈及び火山脈は左の如し。

北部：北上阿武隈奥羽關東諸山脈、那須火山脈、
 本洲中部：赤石木曾飛騨諸山脈、富士火山脈、
 西南部：紀伊・中國山脈、

四國：四國山脈、

九州：九州山脈、霧島阿蘇火山脈、

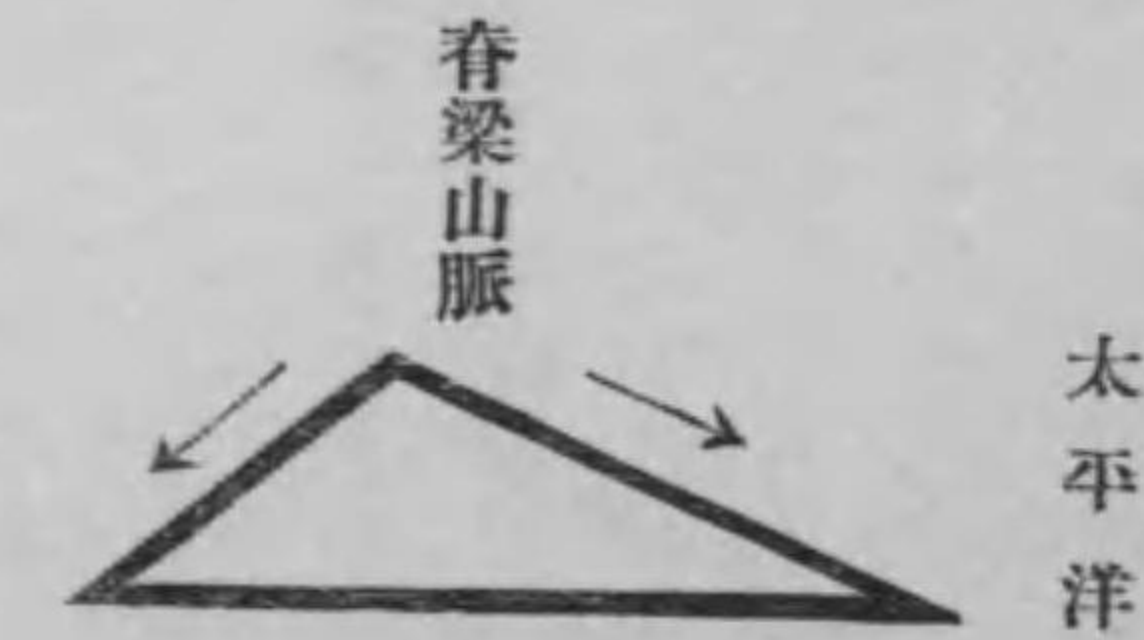
臺灣：臺灣山脈、

北海道本島：蝦夷山脈、千島火山脈、

樺太：樺太山脈、

○朝鮮半島の山脈：長白山脈、太白山脈、

4. 火山多きが故に温泉所々に湧き出づ。景色うるはしき所多し。保養遊覽に適する所多し。



二、河川・平野・海岸

1. 地形狭長にして山脈中央に連り海岸に向つて傾斜するを以て河川は概ね短く流れ急にして水運の便少なく且屢々洪水の害あり。されどその水量は常に少なからずして灌漑發電に利用せらるること多し。

2. 大河の下流及び海岸地方には所々に平野開く。關東平野・濃尾平野・大阪平野・越後平野等大なり。

3. 海岸は屈曲に富み港灣の良港なるものに乏しからず。

○日本海方面は屈曲少なく港灣稀にして、太平洋方面は海岸の出入多く良港灣に富む。

4. 平野海岸地方には産業交通よく發達し、戸口稠密にして郡邑多し。
⑤ 氣候

臺灣の南部は熱帯に入り、千島の北部は寒帯に近きを以て極寒極暑の差尠からずと雖も、國の大部分は温帯中にあり。且海水に圍まるゝを以て寒暖中和を得たり。

⑥ 産業

一、農業

1. 氣候温和地味肥沃なるを以て農業は古來産業の第一となれり。
2. 農産物の主なるもの：米・麥・大豆・甘蔗・甘藷・茶・煙草・果實等。
3. これ等の農産物は食用に供せらるれども、又工業の原料として用ひらるゝものあり。その製品の産額も少なからず。
4. 農産物も、之を原料としたる製品も砂糖・製茶の外は輸出せらるゝもの少なくして、却つて綿・粗糖・豆粕等の輸入せらるゝもの多し。

綿は輸入品中の最も主なるものにして綿絲の原料となる。

5. 我が國は支那と共に世界の蠶業國なり。

イ、中部・關東・奥羽・近畿の諸地方には養蠶・製絲の業盛に行はれ、絹織物の業も亦随つて發達す。

ロ、生絲は我が國第一の輸出品にして、絹織物も亦主要なる輸出品なり。

二、林業

1. 森林の面積大にして、木材を産出すること多し。
2. 最も名高きもの：木曾谷・阿里山の檜・米代川流域・吉野川流域の杉・北海道・朝鮮北部のとら松・えぞ松から松。

三、牧畜

1. 牛馬の飼養を主とす。
2. 羊の飼養盛ならざれば、毛織物の原料たる羊毛は殆ど全く之を外國に仰げり。

○羊毛は濠洲より多く輸入す。

四、水産業

1. わが國は殆ど四面海をめぐらし、暖流には日本海流、對馬海流あり、寒流には千島海流、樺太海流あり、魚族頗る多し。
2. 北海道近海は水産物の主産地。
3. 水産物の重なるもの、いわし、鯉にしん。
4. 輸出額の少からざるもの、かに、鰯。
5. 瀬戸内海の沿岸、朝鮮半島、臺灣島の西岸、鹽を産す。
6. 所々の沿海、河湖には魚貝等養殖せらる。

五、鑛業

1. 鑛産物には石炭、銅、金、石油等殊に多く、製鍊の業も随つて亦盛なり。
 2. 石炭：九州北部(三池炭坑)、遠賀川流域、北海道本島を主産地とし、其の産額鑛産物中の第一位を占む。
 - イ 我が國工業の發達を助く。
 - ロ 東洋諸港に輸出せらる。
 3. 銅：足尾、日立、小坂、別子に多く産す。
- 我が國は世界に於ける銅の主産地なり。盛に海外に輸出す。

4. 金：鹿兒島縣及び朝鮮半島、臺灣には金鑛を多く産す。近時静岡縣に於ける産額著しく増加す。
- 日立、小坂にて製鍊せらるゝ額頗る多し。
5. 石油：新潟、秋田の二縣より産出し、我が國需要の過半をみたせり。
6. 鐵：朝鮮、釜石附近等より産す。

六、工業

1. 近來工場到る所におこりて、著しく發達せり。

石炭、水力、内外の原料——諸種の製品

2. 主要なる工業地區：大阪灣沿岸、東京横濱附近、九州島の北部、名古屋附近。
3. 工業の中最も主要なるものは紡績及び染織工業にして、生絲絹織物、絹絲綿織物の製造を主とす。

七、貿易

1. 我が國の貿易は各種の産業の發達と共に近年長足の進歩をなし、その年總額は二十億圓に上り、輸出額は輸入額を越ゆるに至れり。
2. 主要なる貿易港…横濱、神戸、大阪、門司。
3. 主要なる取引先…支那、イギリス、アメリカ、合衆國、印度。

○産物貿易額等を最近の統計によりて調査し、教授事項の具體化をはかるべし。

④ 交通

一、鐵道

1. 次第に發達して延長一萬哩に及ぶ。
 2. 幹線は東京を中心として、北は北海道本島、南は九州島に達し、又朝鮮を縦走して滿洲の我が鐵道に連る。
 3. その海上の連絡には連絡船の設あり。
 4. 幹線より各地に支線を分ち、殊に近畿地方の諸平野、關東平野、九州北部の諸平野には數多の線路縱横に通ぜり。
- 挿畫 鴨綠江の開閉橋

鴨綠江の開閉橋あるあたりは河幅約六町、深さ三十五尺一千噸内外

の巨船は河口より十一里を隔てたる此處まで遡るを得べし。

この橋は明治四十二年八月工事にかゝり、工費約百五十萬圓、明治四十四年十月に竣工せり。長さ三千九十八呎、高さ滿潮時常水面より二十五呎、干潮のとき常水面より三十八呎、朝鮮方面より數へて第九橋桁を開閉式として、以て大船の通航に便ならしむ。

○一日に四回一時間づゝ開橋す。十五分にて開閉す。動く間は五分、他はレールの斷續れらのゆきはめに費さる。

○教育畫報第一卷鴨綠江の橋梁參照

二、航路

1. 横濱、神戸、大阪を主なる起點として、内外の諸港に通ず。
2. 船舶次第に増加す。
3. 世界の海上交通に大なる勢力を得るに至れり。

第八 アジヤ洲

其一 總論

●位置面積人口

一、世界の陸地を分ちて六大洲とす。

1. アジヤ洲……………二八七三〇〇〇方里
2. ヨーロッパ洲……………六四三〇〇〇方里
3. アフリカ洲……………一九三三〇〇〇方里
4. 北アメリカ洲……………一五七九〇〇〇方里
5. 南アメリカ洲……………一一五五〇〇〇方里
6. 大洋洲……………五八一〇〇〇方里

二、アジヤ洲は六大洲中最も大にして全陸地の三分の一を占む。

○東西廣き所二千八百餘里南北二千六百里。

三、東は太平洋西はヨーロッパ洲南は印度洋北は北氷洋。

四、人口は八億。

●区分

一、早くより開けし地なるも、現今は我が國及び支那の外國勢の盛なる獨立國なし。

二、大部分は歐米諸國の領土なり。

●山地と産業

一、アジヤ洲の中央部は地勢極めて高く、パミール高原より大山脈四方に走る。

○パミール高原は亞細亞大陸の中心にして世界の屋根の稱あり。この高原より廣大なる山脈東北・東南西の四方に走る。

二、ヒマラヤ山脈はパミール高原より東南に走れる山脈にして雄大なること世界無比なり。

主峰エベレスト山は高さ凡そ三萬尺世界第一の高峰なり。
挿畫ヒマラヤ山脈



ヒマラヤ山中海抜七千二百尺の地にダージリンなる都邑あり。印度より西藏に入る要路にあたる。この畫はこのダージリンよりヒマラヤ山脈を望みたる景なり。手前の都邑はダージリンなり。向ふに見ゆるはヒマラヤ山脈なり。雪線以上の峻嶺相連る。

三、中央部の諸山脈の間は西藏蒙古等の廣大なる高原をなす。これ等の高原とイラン及びアラビヤ半島の高原とは。

1. 雨量極めて少し。

2. 草原沙漠多し。

3. 寒暑の差大なり。

従つて産業發達せず、住民少し。

④ 低地と産業

一、中央部の高原を下りて海岸に至る間には所々に大低地あり

1. シベリヤ低地：最も大なり。

イ、オビ・エニセー・レナの三大河之を流る。

ロ、シベリヤ低地の南部には農業、牧畜發達せるも、北部は寒氣極めて

はげしく産業おこらず。

○シベリヤ低地は地勢上氣候上の差違により左の四部に分つを得べし。

(1) 凍土帯：北部一帯の低地、氣候寒冽、不毛の地にして、一年のうち多くは氷結し全土氷雪に蔽はる。

(2) 森林帯：凍土帯の南に連る。松、樺、樅等の樹木密生す。

(3) 曠野帯：森林帯以内に於ける平地の總稱なり。農業、牧畜に適し、交通稍便なり。

(4) 山地帯：南部の山脈連亘する地方。

2. 中アジアの低地、裏海あり。

3. 支那平野。

イ、太平洋方面の揚子江、黄河の下流に沿ひて支那平野あり。

ロ、沃野千里の稱あり。支那の寶庫なり。

ハ、古來農業大に發達し、戸口甚だ密なり。

チ、印度平野

イ、印度洋方面のガンジス河、インダス河に沿ふ。

ロ、土地肥沃にして雨量多く、氣候あつくして、植物繁茂す。

ハ、古來農業發達し、戸口密なり。

○印度半島の高原も産業發達せり。

5. 其 他太平洋又は印度洋方面にある諸川の下流地方にも小平野あり。産業發達す。

又マレー諸島も近時開拓の業進歩せり。

○近時我が國民マレー島にてゴムを栽培するものあり。

⑤交通

一、陸上の交通

産業の盛なる地方には交通の便も亦よく開く。

1. 鐵道 印度支那の東部大に發達す。

シベリヤ西部アジャ等：漸次發達す。

2. 河川の中揚子江、ガンジス河等は交通路として利用せらる。

二、海上の交通

1. 太平洋方面と印度洋方面とは海上の交通盛なり。

2. 其の主要港より歐米、濠の諸洲に數多の航路通す。

我が國及び歐米諸國の船舶常に往來す。

3. 我が横濱、神戸支那の上海、英領の香港及びシンガポール等は航路の大中心をなす。

挿畫 上海港

日本總領事館樓上より見たる上海港の光景なり。手前の汽船は日清汽船會社の漢口航路に従事する襄陽丸(三三〇二噸)棧橋は同會社用のものなり。左方の棧橋は日本郵船株式會社用のものなり。汽船は筑前丸なり。向ふ岸右方に見ゆるは耶松造船場その左方に續けるは岩崎久彌氏經營の華章製紙場なり。又左方遠く煙を吐けるは揚樹浦の紡績工場なり。

其二 支那

●區分

一、位置・面積・人口

1. 亞細亞洲の東部より中部にわたれる大國なり。

- 2. 面積は我が國の十六倍餘、アジヤ州の約四分の一を占む。
- 3. 人口は世界總數の五分の一に及ぶ。

○世界の人口は約十六億あり。

二、區分

- 1. 支那本部 よく開けたる所なり。
- 2. 滿洲
- 3. 蒙古
- 4. 西藏

首府北京は支那本部の東北部にあり。

●支那本部

一、農業工業

- 1. 支那本部の東部を占むる支那平野は古來支那の主要部たり。
○支那は農を以て國家の本とす。古來發達せり。支那平野は物資豐富人口夥多。支那本部の主要部なり。
- 2. 北部は雨少く寒暑の差大なれども、豆類・高粱を産すること多し。
- 3. 北京・天津をその中心都市とす。

イ北京 支那の首府なり。

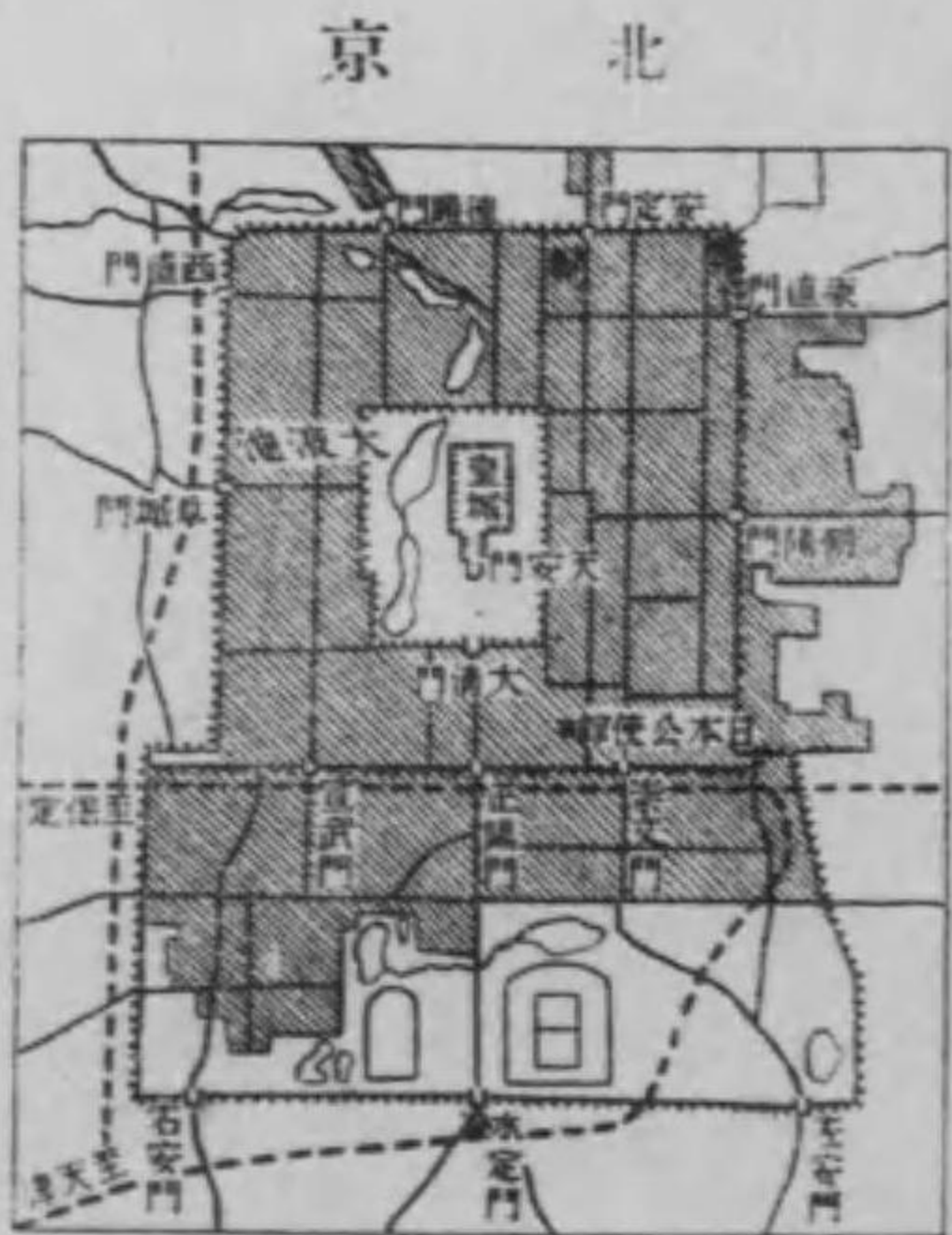
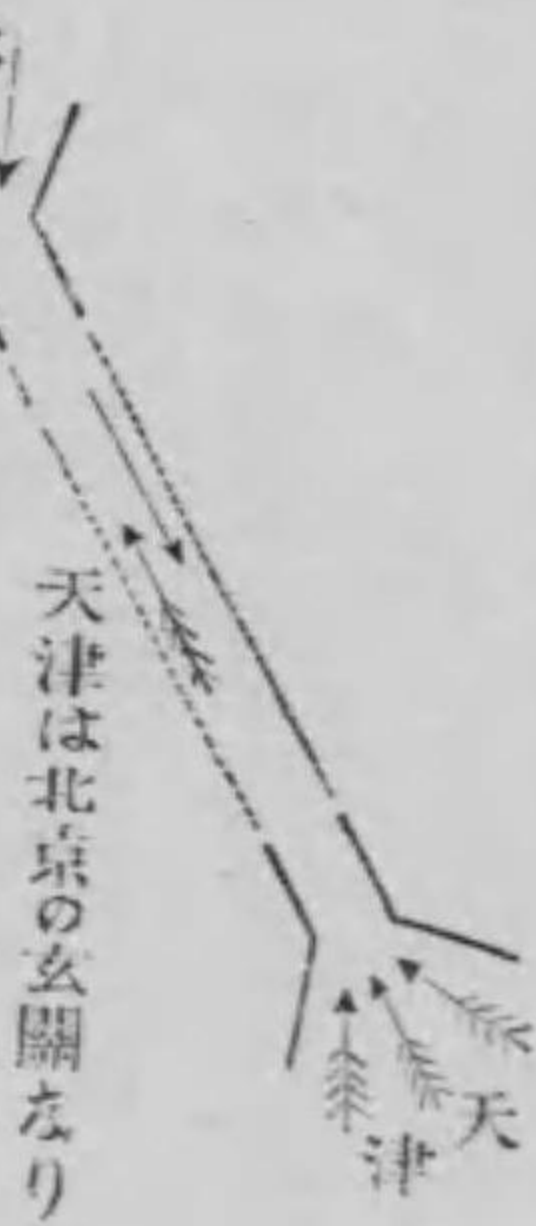
人口（萬）

鐵道四出の中心點なり。

挿畫 北京の市街と城門

北京は市街城壁によりて内城と外城とに分かる。内城には舊皇城その他官衙あり。外城は一般市民の住居區にして商區なり。

本畫は北京内城の南門たる正陽門(前門)前の前門大街をうつせしものなり。道幅二十間あり。人道車道の區別あれど秩序保たれず、雜沓す。



右は北京正陽門なり。
口、天津：北京の外港なり。水陸交通の要衝なり。

支那北部に於ける貿易の一大中心なり。豆粕・豆油・茶等を輸出す。人口（萬）

挿畫 天津にある日本人の居留地。

日本專管居留地旭街をうつせるものなり。大厦整然としてならび立つ。

5. 南部の平野は珠江の流域と共に氣候温暖にして雨量多く米・茶・繭・綿等の産出に富む。従つてこれ等の地方の各地には製絲・製茶の業行はる。

5. 南部の都邑

イ、上海：揚子江流域にあり。人口（萬）

綿絲紡績の業盛なり。

生絲絹織物・茶を輸出す。

○長崎を距る四六三哩。航程約三日。

ロ、廣東：生絲絹織物等を輸出す。

ハ、香港：支那南部沿岸の一小島香港島にあり。人口（萬）

東洋貿易の中心なり。横濱より一六〇〇哩。生絲絹織物・茶等を輸出す。○英領なり。

二、鑛業工業

1. 支那本部には石炭・鐵鑛などの鑛物豊富なり。

イ、漢口の東南に大冶鐵山あり。

ロ、大冶の南方に萍郷の炭坑あり。

ハ、漢口の對岸にある漢陽には製鐵の業大いにおこる。



挿畫 漢陽にある製鐵所と漢口

この畫は製鐵所南方丘陵より製鐵所を瞰下し漢江を隔て、漢口の市街の一部を望みたる所なり。手前は漢陽向ふ岸は漢口なり。漢口の市街は右方につゞく。



漢陽は支那第一の製鐵所のある所にして、原料は大冶の鐵鑛なり。

2. 大冶の鐵鑛は我が國八幡製鐵所に送らるゝもの少からず。

○明治三十二年より鐵鑛購入の特權を得たり。

三、交通貿易

1. 水路

支那平野は交通便利なり。殊に揚子江は最も主なる自然の交通路をなし、河口より約二百八十里の上流にある漢口に至るまでは海洋を交通する汽船も自由に之を往來す。

イ、漢口：水陸交通の要地に當り貿易盛なり。

ロ、上海：揚子江の河口附近にあり。水陸交通の要地にあたる。

○既授の事項を問答すべし。

2. 鐵道

支那の鐵道の幹線は京奉・京漢・津浦線等なり。

イ、京奉線：北京より天津・山海關を経て滿洲の奉天に至りて我が南滿洲鐵道に連絡す。

○延長五二三哩、支那本部と滿洲とを連絡するのみならず、ヨーロッパに通ずる重要線路なり。

ロ、京漢線：北京より漢口に至る。

○延長七五四哩、支那本部縱斷線の北半を爲す。

ハ、津浦線：天津より京奉線に分れ揚子江の左岸浦口に至り、その

對岸にある南京と上海との間を通ずる鐵道に連絡を保てり、

○延長六二八哩、支那本部の東部を貫通する重要線なり。

その外主なるものに山東鐵道あり。青島より濟南に至り津浦線に連絡す。

挿畫 青島

圖の最も手前の左右に通りて白く長く見ゆるは治德町にして更にそれと並行せる街道は大村町なり。大村町の略、中央より縦に走る街道は濱松通りにして、その端に當れる處の圓錐形の黒き塔は青島市民の公會堂なり。遠く市街地の向ふに丘上を走れる幾筋かの道路は臺西鎮市街に至るものなり。臺西鎮市街は丘の向ふ側にあり。

海面は膠洲灣なり。

海の向ふに島の如く見ゆるは海西半島にして膠洲灣の入口をなせり。

○大正三年我が國はドイツとの戦争の結果青島を占領し、爾來これが經營にあたりつゝあり。

3. 支那本部は海岸線の出入少く良港に乏し。

イ、北部に青島南部に香港あり。

ロ、河川の下流に臨めるもの：天津・上海・廣東。

○上海・香港は我が横濱・神戸と共に東部アジャに於ける交通貿易の大中心をなす。

○香港は貿易額の大なること東洋第一なり。

挿畫 香港

香港島の北岸にあり。東洋屈指の良港なり。されど海岸の平地狭きが故に民戸商館は海岸より山腹に及べり。

● 滿洲

一、位置・面積・人口

1. 支那本部の東北にあり。

2. 面積は我が國より稍大なり。

3. 人口は一千數百萬。

○人口約一千三百萬、その密度一方里僅に二百二十餘人に過ぎず。我が北海道にも及ばず。

二、地勢

1. 山脈：東・西北の三面は殆んど山を以て包まる。

2. 平野：中央部には廣濶なる滿洲大平原あり。

3. 河流

イ、松花江 平野を東北に流れて黒龍江に入る。

ロ、遼河 平野を南に流れて渤海灣に注ぐ。

○河床平坦にして水量多く舟行頗る便利なり。

三、氣候

1. 朝鮮に比して寒暑共に強し。

2. 寒季最も長くして、暑季之につき、春秋二季は共に短し。冬は低温にして乾燥せる西北風を受くるを以て、積雪少けれども寒氣甚だし。

○大陸性氣候なり。晝夜の温度も變化多し。

四、産業貿易

1. 農業：滿洲に於ける最も重要な産業にして、住民の大部分は之に従事す。

イ、南部：高粱、大豆；大連、營口、奉天等には豆粕、豆油の製造盛なり。

ロ、北部：小麥；哈爾濱には麥粉の製造盛なり。

2. 林業：滿洲の東部には所々に大森林あり、

鴨綠江流域の森林より盛に木材を伐出して鴨綠江を下す。

3. 牧畜業：北部、東部の原野地方には馬、羊、牛等の飼養行はる。

4. 鑛業：鑛産多し。

イ、石炭：撫順には我國の採掘せる大炭坑あり。

○撫順は奉天の東方約十里、撫順線の終點に位す。露國人の經營せし所なるが

明治三十八年三月奉天大會戰の時我が軍之を占領し、明治四十年四月南滿洲鐵道株式會社之を我が政府より繼承せり。

○採掘の現況

目下採掘せるものは左の十採炭所とす、

千金寨、大山、東郷、楊柏堡、老虎臺、高連屋、新屯、龍鳳、古城子、及び煙臺、

従業員は日本人三千四百八人、支那人三萬三千五百五十九人にして、外に一日平均四千六百五十五名の臨時苦力あり(大正六年四月二十日現在)

挿畫 撫順炭坑(露天掘)

古城子露天掘の光景なり。寫眞は大正五年頃のものにして、西南部より見たるもの、現狀とは頗る趣を異にし、殆ど別物なるかの感あり。圖の左方の坂道は卸しにして、電力による捲揚げ機にて炭車の昇降する通路なり。各段階の炭車すべてこゝに集りて引き上げらる。左方上部の橋は棧橋にして捲き揚げられたる炭車はこゝに運ばれ、其下に引き込まれたる貨車四十五噸、廿七噸、廿五噸積の三種ありに積込み蒸気々罐車によりて搬出さる。

右方汽車及機關はスチームショベル(採砂機)による剝土の状況にして、此剝土は直ちに豫め敷設されたる列車によりて輸送す。

右方の建物は古城子採炭所事務所其他の建物にして、現在は棧橋も共に他方に移轉して、この邊まで採掘に従事せり。

左上部の建物は現場事務所、工場、鍛冶場、木工場等排水用動力室等なり。

中央に見ゆる黒き階段及び底部の白き平面は全部炭層にして二呎の軌道各所に敷設され、半噸入の炭車、採炭苦力も見ゆ。苦力とは支那人夫の謂なり。

圖の右下方に數十人立てるは四呎八吋半の廣軌レールの敷設取り除け又は修繕をなすもの、此邊は頁岩層のある所にして運搬車より右方高き部は沖積層なり。

左方其他に見ゆる柱は假設電柱にして、夜間作業の際、サーチライト及び普通電燈を點す。

○撫順炭坑の採炭法は露天掘のみにあらず、殘柱式採炭法、填砂採掘法等をも實

施しつゝあるなり。

○露天掘

古城子の露天掘は撫順炭礦中炭層の地表を距ること最も淺く、土砂三四十尺にして着炭する箇所にして、大正三年四月より開鑿に着手し、現在一日の従業員晝夜に日支人二千三百餘名にして平均一千噸を採掘す。

採炭法は普通階段掘にして最初の卸しを中心とし、約十二尺の深さに圓形に採掘し、其底部に此圓に沿ふて輕便軌道を敷設す。此圓は漸次採掘擴大せられ、其底部相當の大きとなれば次に又其内部に採掘を始む。

各段より採掘せる石炭は傾斜捲機によりて坑外に捲揚ぐ。石炭採掘には通常鶴嘴を用ひ、又發破孔を穿ち火薬を押し入れて發破せしむ。

目下坑底は表面より二百五十尺、十二段なれども斷層其他の關係により其形狀狀況等の採掘の進むと共に常に變化しつゝあるは言ふまでもなし。

ロ、本溪湖にも炭坑あり。その附近に鐵山發見せらる。

○本溪湖は明治三十九年一月大倉組の手によりて開坑式をあげ、四十年五月日支合辦事業として煤礦公司を組織す。明治四十年四月炭坑の東方二十哩の廟兒溝村に鐵山發見せられ、四十四年十月公司是製鐵部をも合辦す。

○その他煙臺炭坑、鞍山站鐵山等あり。

6. 貿易：滿洲の主なる輸出品：大豆、豆粕、豆油。

大連、營口等より積出さる。我が國に來る額甚だ多し。

五、交通

1. 南滿洲鐵道の本線：大連を起點とし、奉天にて支線の安奉線及び支那の京奉線と會す。それより長春に至り、東支鐵道と連絡す。
2. 東支鐵道は長春より哈爾濱に至り、浦潮斯德より來るものと會し、西北に進みてシベリヤ鐵道の幹線に連る。

六、都會

1. 奉天(人口 萬)

イ、滿洲平野の南部を占め滿洲第一の都會なり。

○市街は四周に土壁をめぐらす。高さ一丈三尺周圍約六里。更に内部に高さ三丈六尺周圍一里二十六町の煉瓦壁あり。市街を内城、外城に分つ。

ロ、政治、交通、商業の中心をなす。

○日露戰爭奉天會戰につきて問答すべし。

2. 營口(人口 萬)

イ、遼河口に近くその左岸に位す。

ロ、遼河水運の集中點：交通便なり。

ハ、大豆、豆粕、豆油等の輸出を以て名高し。

挿畫 遼河の下流

營口附近、大豆、豆粕等を汽船に積み込む光景なり。大豆、豆粕等は上流地方より支那のジャンク船によりて運び來らるゝなり。

3. 安東(人口 萬)

イ、鴨綠江の下流にあり。朝鮮の新義州と鐵橋一つを隔てて相對す。

ロ、營口と共に滿洲の主なる門戸を爲す。木材、大豆の中心市場なり。

4. 長春(人口 萬)

イ、南滿洲鐵道の北端に位す。

ロ、附近より大豆、麥、煙草を産す。商業盛なり。

○奉天より約百九十哩、大連より四百三十五哩餘を距つ。

5. 哈爾濱

イ、松花江の中流右岸にあり。

ロ、東支鐵道の要驛にして商業盛なり。

④ 蒙古

一、滿洲の西に連り沙漠多き蒙古高原を占む。

○中部にゴビ大沙漠あり。

二、内蒙古外蒙古に分る。

○ゴビ沙漠の北を外蒙古といひ、南を内蒙古といふ。

三、住民：水草を逐ひて牧畜に従事す。

1. 皮類

2. 羊毛

主なる産物とす。

四、蒙古の東部と東南部とは、小麦、たうもろこし等の栽培行はる。

⑤ 我國と支那との關係

一、關東州の租借

1. 明治三十七八年戰役の結果我が國は關東州を租借す。

2. 大正四年五月二十五日調印せられたる日支協約により租借期限を九十九年に延長せり。西曆一千九百九十七年を以て滿期と定めたり。

二、南滿洲鐵道の經營及び南滿洲及び東部内蒙古に諸種の事業を爲すの權を有す。

○大正四年五月の日支協約により我國民は南滿洲に於て各種商業上の建物建設のため又は農業經營上必要な土地を商租し、自由に居住往來し、各種の商業その他の業務に従事することを得、東部内蒙古に於ては支那國民と合辦により、農業及び附隨工業を經營することを得ることとなれり。

三、鑛山採掘及び工業に關係す。

1. 撫順炭坑を始め現に採掘せる鑛山の外、奉天吉林兩省内の石炭、鐵金の鑛山を採掘することを得るなり。蕪湖、桃沖等の鑛山も我國の關係する所なり。

2. 漢冶萍公司の借疑に應ず。明治三十七年以來東亞興業銀行、正金銀行、大倉組、三井物産會社等より融通したる資本は既に三千六百餘萬圓に上る。

四、山東半島

1. 獨逸人の經營したる鐵道その他一切の事業を管理經營す。
2. 我が國人の在住するもの次第に多きを加ふ。

○山東問題につき大要を説明すべし。

五、交通貿易

1. 連年著しく發達す。
2. 彼より輸入するもの：大豆・豆粕・綿羊毛等。
3. 我より輸出するもの：綿絲・銅・石炭・マツチ・水産物等。

其三 シベリヤ

●位置面積人口

- 一、北部アジヤの大部を占む。
- 二、面積：我が國の十九倍にあたる。
- 三、人口：我が國の七分の一に過ぎず。

●地勢

一、南より北に向ひて次第に低く、大河概ね北流す。ひとり黒龍江のみは東に流れて間宮海峡に注ぐ。

二、南部の山地の中には有名なるバイカル湖あり。

○バイカル湖は水の深きこと世界第一と稱せられ最深部は約五千尺ありといふ。

その面積略、我が國の臺灣に等し。

○北流する河の大なるもの：オビエニセイ・レナの三大河あり。

●産業

一、シベリヤの中部以南の地には大森林あり、西部には大平野あり。

1. この平野の南部は地味肥沃にして、氣候溫和なれば、麥の耕作及び牧畜盛なり。

2. 都邑も亦多し。

二、南部の山地：金銀等を産すること少からず。

三、太平洋方面の近海及び沿海の河川

1. さけますたらかに等の水産物多し。
2. 世界に名高き一大漁場をなす。

3. 夏季我國人の出漁者少なからず。

○東部の近海は樺太近海と共に世界の豊魚帯に屬す。

この地方は我が國が漁權を有するにより漁期我が國人の出漁するもの少なからず。

④都邑・交通

一、浦潮斯德(人口 萬)

1. 日本海に臨みシベリヤの門戸なり。

2. 軍港と商港とを兼ねぬ。

3. 敦賀との間に定期航路通す。

○浦潮斯德・敦賀間四百九十哩。

4. シベリヤ鐵道の起點。幹線はシベリヤ南部の地方を通じて、ヨト

ロッパの鐵道に連り、又東支鐵道によりて我が國の鐵道に連絡を保ちて世界交通の幹線をなす。

挿畫 浦潮斯德港

浦潮斯德は軍港と商港との二部に分たる。この畫は商港の模様を

示せるものなり。向ふに見ゆるは浦潮斯德の市街にして後方の山の中腹に及べり。壯麗なる建築少なからず。

二、シベリヤ鐵道沿線の都會

1. イルクーツク：バイカル湖の西方にあり。商業上の中心を爲す。人口 萬。

2. オムスク：水陸交通便、政治商業の一中心。穀物の集散盛なり。人口 萬。

其四 印度

①位置

アジア洲の南部にあり。三角形をなして印度洋に突出す。

②地勢

一、北には地球上最高のヒマラヤ山脈東西に互る。南部にはデカン高原あり。

二、兩者の間は印度大平原にして、ガンジス・インダス等の河流之を灌溉

③産業

一、印度の大部は暑さ甚だしく、雨量多し。

二、農業廣く行はれて、米・麥・綿・茶・麻等の産出に富む。

○米・茶・麻は東部に多く産し綿はテカン高原に盛に栽培せらる。

○印度はアメリカ合衆國と共に世界の二大寶庫と稱せらる。

三、紡績業も盛大なり。

○製麻業も盛なり。

④都邑

一、デリー(人口 萬)

1. 印度平野は地味肥沃にして印度の主要部たり。デリーは印度平野の中部にあり。

2. 印度の首府なり。政治の中心地。

二、カルカッタ(人口 萬)

1. 印度の東の門戸なり。内外數多の交通線こゝに集まる。

2. 麻・茶・米等を輸出すること多し。

挿畫 カルカッタ港

カルカッタは貿易港として名あり。右方の軌道は馬車鐵道なり。

河流はガンジス河の一支流フーグリ河なり。

埠頭に碇泊せる汽船は印度船より運び來れる貨物を積み込まんとしつゝあるなり。

屋根ある船は船中生活をするためのものなり。

三、ボンベイ(人口 萬)

1. 西海岸一小島の上にある。印度の

西の門戸なり。内外數多の交通線

こゝに集まる。

2. 東方に印度第一の綿作地をひかへ綿絲紡績盛に行はれ、綿の輸出多し。

四、コロンボ(人口 萬)

1. セーロン島の西南岸にあり。



2. 印度洋の要港なり。

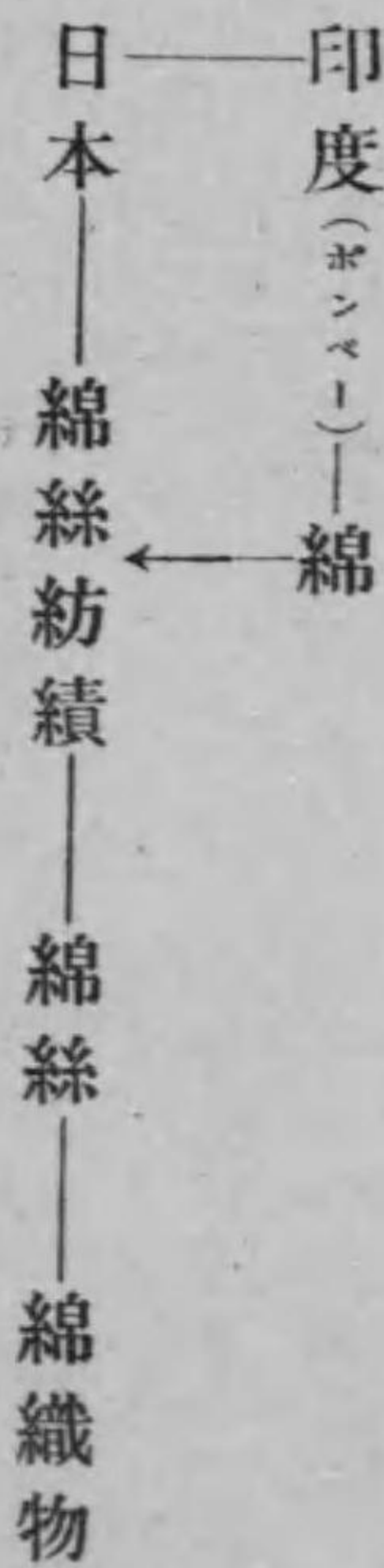
○世界交通の要衝、歐亞交通の中央にあり。

3. 多く茶を輸出す。

⑤ 我國との關係

一、我が國の汽船はカルカッタ・ボンベイ・コロンボ等に定期に交通す。

二、ボンベイよりは盛に綿を輸入す。我が國の綿絲紡績業は主として印度より輸入せる綿を用ひて發達したり。



其五 東南アジア

● 印度支那半島

一、印度半島の東、印度洋と太平洋との間に突出す。

○シヤム、イギリス領(西部及び南部)、フランス領(東部)に區分せらる。

二、山岳多けれども主なる河川の下流地方には平野あり。氣候暖にして平野には多く米を産す。

○イラワヤ、メコン等の河流の灌漑は肥沃の平野なり。米を産すること多し。

三、ラングーン・バンコク・サイゴン等の諸港より米を輸出す。

○我が國の輸入する外米は多く此の地方より來る。

イ、ラングーン……米の取引甚だ多し。(英領)

ロ、バンコク……シヤム國の首府なり。この國の政治・商業の中心なり。

ハ、サイゴン……米の輸出多し。佛領内第一の商港なり。

● マレー半島

1. ゴムの栽培盛なり。こゝに在留せる我が國人も亦多く之に従事す。

2. シンガポール……半島の南端にあり。海峡の關門を扼し、貿易盛なり。(人口 萬)

世界交通の要衝。各國の船舶しげく出入す。

○我が國の歐洲線・ボンベイ線等の航路にあたる。

○横濱より二千九百哩。十八日乃至二十日にして達す。

③マレー諸島

一、印度支那半島の南より東にわたり、赤道の南北に散在せる大小無数の島嶼より成る。

二、これ等の島々はいづれも山がちにして中に數多の火山あり。

○ジャワ島の知きは三十坐もあり。

三、氣候甚だ暖にして森林に富み、又甘蔗、マニラ麻、やし等の栽培よく行はる。

四、ジャワ島(オランダ領)は世界に於ける砂糖の主産地にして、バタビヤより盛に之を輸出す。

○我が國の外國より輸入する砂糖の大部分はこの地よりす。

○バタビヤは百貨吞吐の門戸なり。

五、ボルネオ島は諸島中最も大にして、スマトラ島と共に石油を産す。

○我が國も米國及びこの地より多く輸入す。

六、フィリピン群島は米國に屬す。ジャワに次ぎて農業發達せる所に

して、マニラ麻の産出多く、主としてマニラより輸出す。

○フィリピンはマニラ麻、煙草、砂糖の産多し。麻と砂糖とは近年我が國に向け輸出せらるゝこと少なからず。

○マニラはフィリピンの首都なり。重要農産物の集散地なり。

④マレー諸島と我國との關係

一、マレー半島には我が國人の渡航するもの漸く多し。

二、我が國の汽船も近年こゝに航路をひらけり。

三、彼我が貿易も亦随つて次第に發達す。

第九 ヨーロッパ洲

● 区分

一、位置・面積・人口

1. アジヤ洲の西北に連る。南は地中海を隔て、アフリカ洲と相對し、西は大西洋を隔て、遙に北アメリカ洲に向ひ、北は北氷洋に臨む。

2. 面積はアジヤ洲の約四分の一なり。

○面積は六十四萬方里あり。

3. 人口は四億餘の多きに上る。

○人口は四億五千萬あり。一方里約七百人にしてアジヤの三百人に比し二倍半に達す。

二、区分

1. 本洲は大小二十餘國に分れイギリス・フランス・ドイツ・ロシア・オーストリア・ハンガリー・イタリア等の如きは世界の主なる國家なり

しが、今回の世界大戦にて、ロシアは崩壊し、ドイツは領土を削られ、オーストリア、ハンガリーは分裂し、更にその地にはチェコスロヴァキア共和国、ユーゴスラヴ王國の獨立せるあり。今やイギリス・フランス・イタリア等強國となるに至れり。

2. これ等の國々は面積人口に於ては我が國と大差なけれども、その勢力は他の大陸にのび、全版圖は世界陸地の半を超ゆ。中にもイギリスは最も強大にして北アメリカ合衆國と共に雄を争へり。

● 地勢

一、山脈

1. 本洲の南部及び西南部：アルプ山脈を始め、ピレネー山脈、アペニン山脈、カルパチヤ山脈等相連る。

挿畫 アルプ山脈中の高峰

本畫はユングフラウ山とツィヌ湖とを寫せるものなり。アルプ山脈の峩々たる有様、四時雪を戴ける様を示す。

手前の家のある所はセン・ピールテンベルグと稱する所にして、ツィヌ

湖の北岸に臨む。ツース湖は海拔凡そ一千八百五十四尺の處に位し、湖近に山岳をめぐらし湖邊の風景頗る可なり。

挿畫 登山鐵道

瑞西人はその國高山深谷多きに拘らず交道遊覽機關の完備に力を盡し、處々に登山鐵道を敷設せり。

この畫はそのアルプ山中ピラートの登山鐵道を示せるものなり。軌道はラックレールにしてアプト式なり。

2. 北部：スカンデナヴィヤ半島にはスカンデナヴィヤ山脈あり。

二、平野

1. 大陸の東部は廣大なるロシヤの大平原にして西はドイツフランスの平野に連る。大部分耕作の地にして大陸中生産の最も豊かなる地方なり。

2. 南部は山岳連り平野少なけれども伊太利の北部に平野あり。

三、河川

1. 平野の間を多くの河川灌溉す。

2. 重なるものボルガ・ドンドニエブル・ダニユー・ブライン等。

3. これ等の河川は、

イ、流れ割合に長し。

ロ、流れおほむねゆるやかなり。

ハ、水量多し。

ニ、互に運河によりて相連なる。

故を以て水運・灌溉に便なり。

◎ 産業

一、農業

1. ヨーロッパ大陸に比し、やゝ北方にかたよれども、大西洋の暖流の爲に氣候おほむね溫和にして農産物に富む。

2. ロシヤは本洲第一の農産國にして、小麦・麻等の農産物を産し、之を本洲西部の諸國に輸出す。

○ ロシヤは小麦の産米國に次ぎ世界第二に位し、麻はヨーロッパ第一の産あり。

ドイツ・イギリス等に輸出す。

○ロシアはヨーロッパの穀倉と稱せらる。

3. ドイツは甜菜・馬鈴薯を栽培す。甜菜は砂糖大根と稱せられ、之より砂糖を製す。

○ドイツの甜菜糖は世界第一の産額あり。馬鈴薯もドイツは世界第一の産あり。世界産額の約三分の一を産す。

4. 地中海方面のフランス・イタリア等には葡萄の栽培・養蠶の業行はる。葡萄酒の製造盛なり。

○葡萄酒は佛蘭西は世界第一・イタリアは世界第二の産額を有す。

○養蠶業はローヌ河流域盛大なり。

二、牧畜・林業・水産業

1. 牧畜は廣く各地に行はる。馬・牛・羊等の飼養を主とす。

イ、ロシアは土地廣大にして原野多く、牧畜は本洲中最も盛なり。馬の頭數最も多し。

ロ、オランダ・デンマーク・スイス等には牛を牧してバター・チーズを製し之を輸出すること少なからず。

2. 林業はドイツ・オーストリアに最も發達し、又バルブの輸出はスエーデンを第一とす。バルブは英・獨等に輸出す。

○ドイツの中部以南・オーストリアの西北部には大森林あり、良材を出す。この地方の林業は模範的と稱せらる。又バルブの製造も盛に行はる。而してその質良好なり。

○スエーデンは到る所に林業發達し、良材を出す。又バルブの産出多し。

3. 水産業

大西洋の沿岸は一般に水産物に富む。

殊にノルウェーの近海はたらにしんくちら等多くして世界の大漁場をなす。

○ノルウェー及びイギリスの兩國と本洲との間なる海岸は世界三大漁場の一と稱せらる。ノルウェー、イギリス二國は漁業盛なり。

○ノルウェーのベルゲン港、イギリスのハル港は漁業の根據地なり。

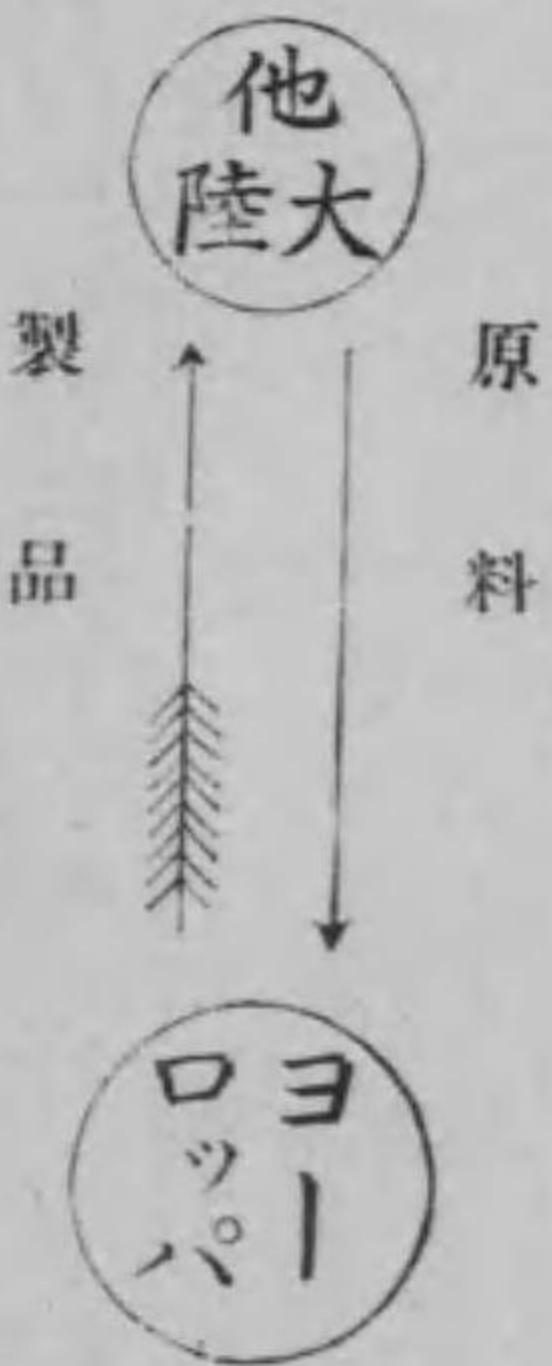
三、鑛業・工業

1. 本洲は鐵と石炭との産出多く従つて工業大に發達せり。

2. ドイツとイギリスとは鐵鑛・石炭の主産地。フランス・ベルギー之

に次ぐ。

3. これ等の諸國にては鐵機械の製造大に發達し、又他の大陸より綿・羊毛・生絲・ゴム等種々の原料を輸入し、これ等を工業品として他の大陸に輸出す。



4. 工業品の中にてイギリス・ドイツの綿絲・綿織物・機械・毛織物・船艦化學製品はその産額世界にすぐれ盛に世界各地に輸出せらる。

④ 交通貿易

一、陸上の交通

1. 本洲は産業の進歩と共に交通の便大に開け、白英・獨佛の諸國には鐵道縱横に通ず。

2. 幹線はロンドン・パリ・ベルリン・モスコ等を中心として諸方に

通じ、又遠くアジヤ洲にのびてシベリヤ鐵道などとなる。

二、海上の交通

1. 海岸線の出入多く、河川の下流も亦大船を入るゝに適し、到る所に良港ありて、海上の交通盛なり。

2. 著名なる港市……ロンドン・リバプール・ハンブルグ・マルセイユ等にして、世界諸港に通ずる航路甚だ多し。

イ、ロンドン……世界第一の大都會、世界一の貿易港、世界金融の大中心、商工業繁盛、世界交通の大中心なり。

ロ、リバプール……イギリスの商港にして運河によりてマンチェスタ
ーと通ず。

ハ、ハンブルグ……ドイツ第一の貿易港なり。

ニ、マルセイユ……フランス第一の商港なり。

3. イギリスは海運業最も盛にして、船舶は世界總數の半を有し、世界交通貿易の大中心をなし、その貿易額は一年に百數十億圓に上る。

○ロンドンには北アメリカ合衆國のニューヨークと共に貿易上金融上の霸王たり。

○ドイツは大戦前はイギリスにつぎて百億圓に達せしが、大戦後疲弊せり。
 4. ベルギー・オランダの小國といへども、貿易額に於てはなほ遙に我が國に勝れり。

⑤ イギリス

一、本國は面積人口共に我國に及ばざれども海外各地に領土を有し、その全版圖は世界陸地の凡そ五分の一、總人口は四億餘にして世界人口の略四分の一を有す。世界最大の國家をなす。
 二、海軍優勢なり。

○海軍力は我國の四倍に達す。世界の各地に海軍根據地を有し、英國の交通貿易を保護す。

三、商工業盛なり。

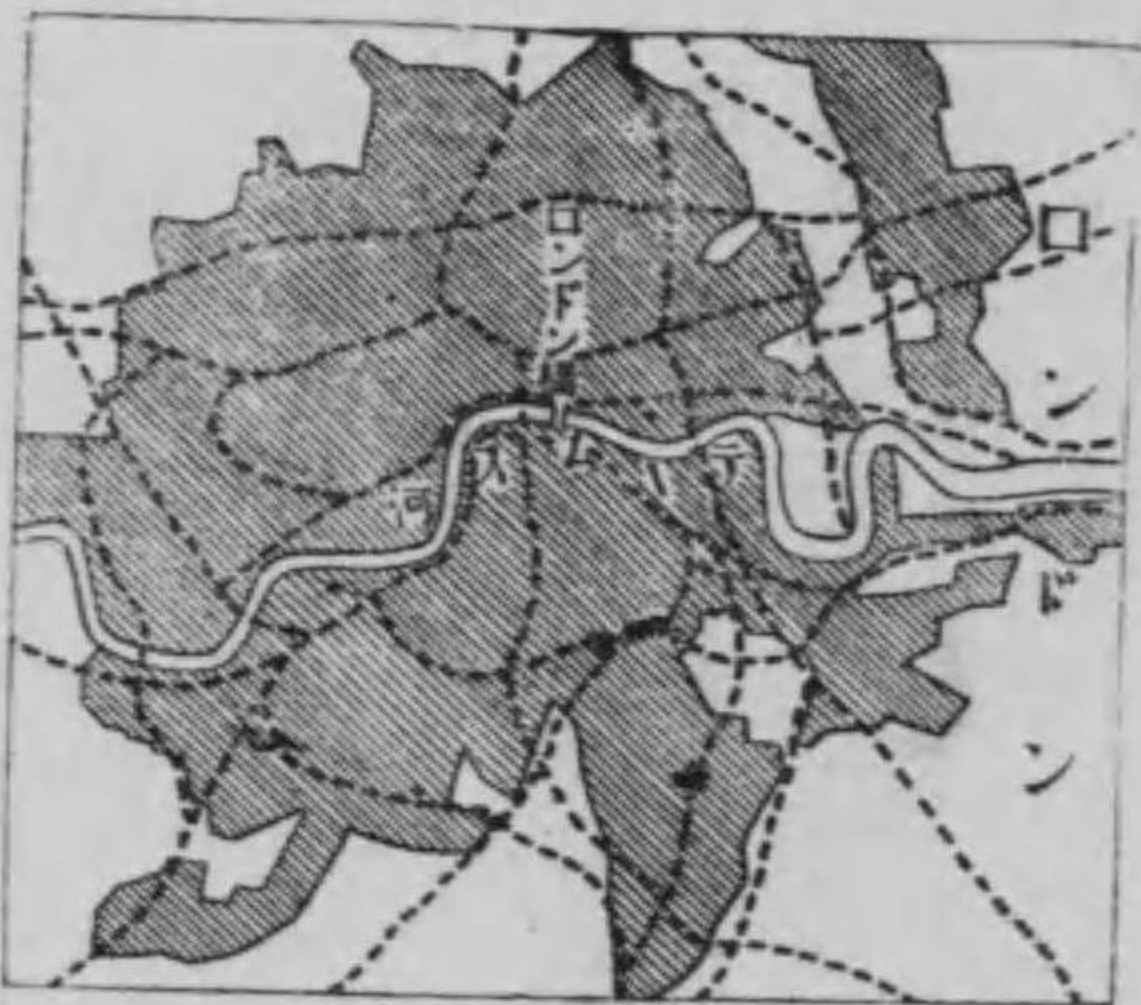
1. 鐵と石炭との産出多く従つて工業盛にして、綿絲紡績製鐵・機械製作造船等盛なり。

○工業盛なる原因

1. 印度その他豊富なる工業原料地を有すること。
2. 國內に鐵石炭多く、工業の原動力を得るに容易なること。

3. 資本多きこと。
 4. 英國人の工業上の知識すべし企業心の盛なること。
 2. 商業・貿易盛にして、多くの港市よりこれ等の工業品を輸出す。
 ○既授の港市につきて問答す。

四、ロンドン



1. テームス河の下流に跨る。人口四百五十萬、接續市を合するときは七百二十五萬、世界第一の大都會なり。
 2. イギリスの首府なり。
 3. 世界交通・商業の大中心なり。
- 横濱より六十日シベリヤ鐵道によるときは十六七日、アメリカを経由するときは二十日にして達す。

挿畫 ロンドンの市街

ロンドンの中央ロンドンシティの繁華を示せるものなり。建築壯麗なり。車馬の往來甚だ多し。圖の左方上部の圓形の大建物はセ

ントポール寺院にしてその左方の高き塔はロンドン塔なり。

⑥ フランス

一、フランスも海外に多くの領土を有し、その全版圖の大なることイギリスに次ぐ。

二、商工業盛なり。

○工業の盛なる原因としてはイギリスと同じく、原料の豊富、資本多きこと、鐵石炭の原動力を有すること、國民の知識の發達せること等を數へ得べし。

三、絹織物、葡萄酒等を輸出す。

○葡萄は國中到る所に栽培せられ葡萄酒の産世界第一なり。養蠶業はローヌ河流域に盛大にしてリヨンは絹織物の中心地なり。養蠶業はローヌ河

四、パリ(人口 萬)

1. セーヌ河に跨る。

2. 市街の美麗なること世界に比なし。

3. 美術工藝盛なり。

4. 世界流行の中心、娛樂の別天地なり。

挿畫 パリーの市街

セーヌ河にかゝれる巴里七橋附近を示せるものなり。この附近には大學、圖書館、専門學校等あり。畫の中央上端の二大方塔は有名なノートルダム寺院にして、カトリック教の本山なり。右端に塔のある處はバンテンオンの堂にして佛國偉人の墓所なり。

⑦ ドイツ

一、ドイツは學術の盛なること世界比なし。又軍備よく整ひ、今回の大戦に於て聯合國側の大軍に對しよく對抗したり。

二、商工業の發達盛にして先進國のイギリスを凌駕せんとしたる有様なりしも、今回の大戦にて一大打撃を蒙れり。

○工業の最も盛なるライン河下流地方の大部分は中立地帯とせられて獨逸をばなれんとし、アルサス・ローレンスはフランスに還附せり。

⑧ ベルリン(人口 萬)

2. ベルリンは世界學術の中心地なり。

3. ドイツの首府のある所ドイツ政治の中心なり。

3. 商工業盛なり。

陸上交通の大中心なり。

挿畫 ベルリンの市街

伯林舊王宮附近を示せるものなり。右方の大建物は舊王宮にして結構壯麗を極む。道を隔てゝの大建物は寺院なり。川はスブレールなり。

ハ ロシヤ

一、ヨーロッパの東北部にあり。廣大なる平野あり。農業最も盛なり。

○農業の盛なること歐洲第一なり、小麥その他麥類、馬鈴薯、麻等を産す。

○現在は國內幾個にも分裂す。過激派はモスコを中心として政府をつくれり。

ポーランド・フィンランドは既に獨立せり。シベリヤも亦本國より分離獨立せり。

ニ、ベトログラード(人口 萬)

1. 舊首都なり。

2. バルチック海に臨み、北方貿易の中心地なり。

三、モスコ(人口 萬)

1. 内地商工業の中心地。

2. 鐵道こゝに集まり陸上交通の中心をなす。

カ オーストリア・ハンガリー

一、もと一國をなしたりしが、今回の大戦の敗北により遂に分裂してオーストリア・ハンガリー・チエックスローヴ・オキヤ・ユーゴスラブ等に分かる。

ニ、オーストリア

3. 工業、鑛業盛なり。

2. ウーイン 首府にして、ダニューブ河畔にあり。(人口 萬)

三、ハンガリー

1. 農業、牧畜盛なり。

2. ブタベスト 首府にしてダニューブ河畔にあり。商業盛なり。(人口 萬)

十 イタリヤ

一、地中海岸の一強國にして氣候温暖なるにより養蠶業盛に果實殊に葡萄の産多し。生絲、葡萄酒の産多し。

○生絲はミラノを中心として北部平野に盛に行はる。

○葡萄栽培は南部半島地方に盛なり。葡萄酒の産出頗る多し。

二、ローマ(人口 萬)

- 1. この國の首府なり。
- 2. 歴史上の遺跡多し。

三、ネーブルス(人口 萬)

- 1. イタリヤ第一の都會なり。
- 2. 風景美なり。

挿畫 ネーブルス港。

ネーブルス灣に臨み近くにヴェスビヤス火山あり。風光明媚なり。手前の方は築港にして棧橋長く海中に出づ。向ふの山はヴェスビヤス火山なり。二重火山として有名なり。噴火口の高さは四千三百尺なり。左方の山はソムマ峰にしてその外輪山なり。

⑤ 我が國と歐洲諸國との關係

一、我が國は歐洲諸國と密接なる關係あり。十餘箇國とは條約を結び

殊にイギリスとは同盟し、ロシア、フランスとも特別の關係あり。

1. イギリスとは明治四十四年七月に東亞及び印度の平和を確保し、支那の領土保全並に支那に於ける列國の商工業に對する機會均等主義を確實にし以て支那に於ける列國の共通の利益を維持し、東亞及び印度に於ける兩國の領土權を保持し並に該地域に於ける兩國の特殊利益を防護するを目的として同盟協約を締結せり。

2. 露國とは明治四十年七月、明治四十三年七月、大正五年七月との三回、佛國とは明治四十年六月條約を締結せり。支那の領土保全その他の事項を協約せるなり。

二、我が國と歐洲諸國とは海陸共に交通便利なり。

- 1. シベリヤ鐵道を利用すれば約二週間にしてロンドンに達すべし。
- 2. 航路はフランス・イギリス・ベルギーの主要なる諸港に通ず。

横濱・ロンドン間一萬一千餘哩、凡そ六十日にして達す。

三、貿易關係

- 1. イギリス・フランスを主なる取引先とす。
- 2. 我が國より輸出するもの……銅生絲、羽二重等。
- 3. イギリスより我國に輸入するもの……鐵毛織物、機械等。

第十 アフリカ洲

●位置

- 一、アフリカ洲は世界第二の大陸なり。四面殆ど海に瀕し、只東北の隅のみ僅にスエズ地峽によりて亞細亞洲に連る。
- 二、其の殆ど全部は歐洲の諸國に屬す。

●地勢

- 一、アフリカ洲は北に廣く南に狭く、四角形の下に三角形をつけたるが如き形を爲す。
- 二、一般に高原を爲し、山脈は海岸に沿うて相連り、急に海岸に傾斜す。
- 三、内地には大小の湖水南北に並べるありて、ナイル河・コンゴ河等の源を爲す。

○湖水の重なるものは、メヤサタンガンイカ・ビクトリヤ等なり。ビクトリヤ湖の水は北流して本洲第一のナイル河となり、タンガンイカ湖の水はコンゴ河の上流ルアラバ河となる。

- 四、海岸線は出入にとぼしく、島嶼も亦甚だ少し。

○地中海岸のガベス灣・シドラ灣・大西洋岸のヤネア灣との外、著しき灣入なし。印度洋方面にマダガスカル島あり。

●氣候

- 一、氣候はおほむね暑く、熱帯大陸の稱あり。
- 二、中部一帯の地は雨多くして樹木密生すれども、南北南部の内地には雨少くして草原・沙漠を爲せる所多し。
- 三、北部にあるサハラ沙漠の面積この大陸の約五分の一あり。南部にはカラハリ沙漠あり。

○サハラ沙漠は土地概ね砂礫より成り所々に砂丘あり。東西約千二百里南北約四百里あり。

●北部

- 一、ナイル河はビクトリヤ湖に發し、北流し、河口に三角洲をつくり地中海に入る。世界第二の長流なり。夏季上流地方に降雨多きを以て水量此の季に最も多し。此の河は灌溉・運輸の便多く、又その沿岸の平野は河水の運べる沃土によりて地味肥え、綿穀物の栽培に適す。従つてこの平野は古來よく開けて都邑發達す。

二、カイロ(人口 萬)

1. エジプトの首府にしてナイル河の下流右岸にあり。
2. 此の大陸第一の大都會なり。
3. 鐵道の中心に當り商業盛なり。
4. その附近には壯大なるピラミッド其の他古代の遺蹟多し。

○カイロの附近ギゼーにはピラミッド、スフィンクス等の如き崇大なる太古の遺物あり。

○ピラミッドは二千八百餘年前國王の墳墓としてつくられたるものにして、高さ四百八十尺面積一萬五千八百五十坪餘十萬の工夫二十年間にてつくりあげしといふ。

○スフィンクスは大ピラミッドの東南にあり人面獸身の石像にして、長さ百八十餘尺高さ六十餘尺あり。中ば砂中に埋もれたり。

挿畫 ナイル河とカイロ

右岸に見ゆるはカイロ市なり。左岸には椰子の樹茂れるを見るべし。河舟の形態奇なり。

五南部

一、英領の南アフリカ聯邦は世界に於ける金、金剛石の主産地にして又

こゝに羊毛、駝鳥の飼養行はる。

挿畫 南アフリカ聯邦に於ける駝鳥の飼養

駝鳥の羽毛は婦人の裝飾用に供せらる。南部のケープ植民地の乾燥地に於ては廣大なる土地を使用して盛に之を飼養す。肉卵は食用に供すべし。

乗馬、又は馬車を驅りて駝鳥を保護す。

二、南端の喜望峯附近に近きケープタウンは此聯邦の門戸を爲す。

○テーブル灣に臨む。主要の港なり。鐵道此より内地に通ず。

六交通

一、アフリカ洲は地勢、氣候等の關係により内地の交通不便にして、開發甚だ遅かりしが近來その歩を進め交通便となる。

二、南北縱貫鐵道完成せんとす。

六千八百七十哩その四分の三は完成せりといふ。

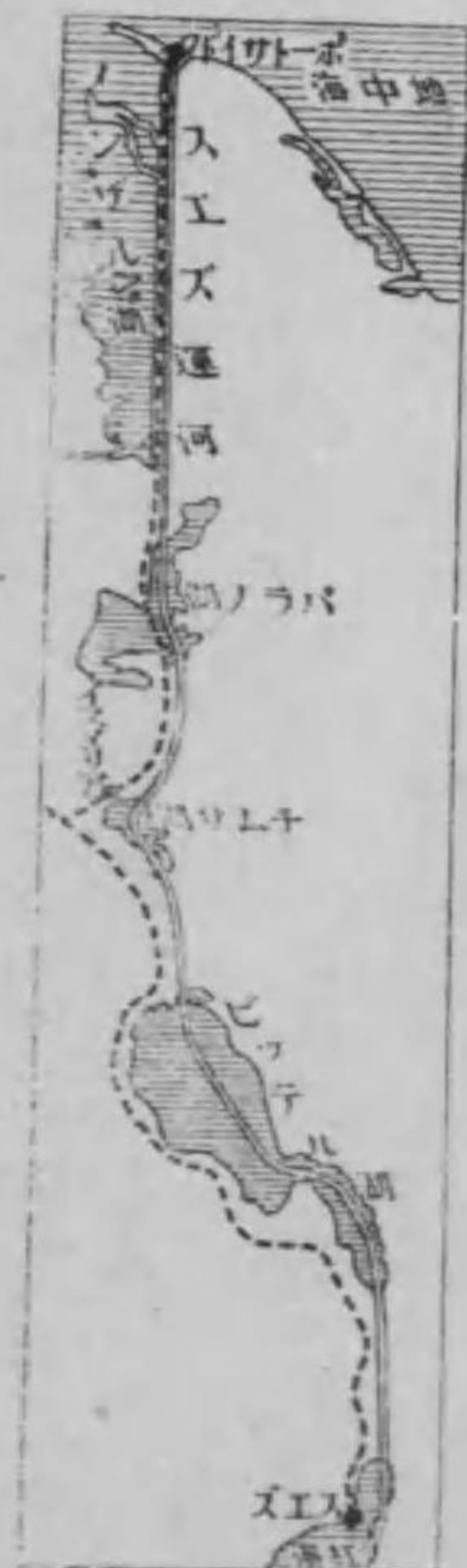
○英吉利の三〇政策(國民常用世界當代地理：志賀重昂氏著)

英吉利の三〇即喜望峯よりカイロに到る鐵道即ちアフリカ縱貫鐵道は、其の六千哩の内、五百哩は未成、但し三千五百哩は落成し、二千五百哩は河潮(ニール河)阿

弗利加中央の大湖系に汽船航路あるを以て、今や縦にアフリカ大陸を旅行し得べし。さてカイロより東の方亞細亞洲に入り、パルミラ沃地を経由してアラビヤ沙漠を横断し波斯灣に出づる鐵道は、英國先皇帝エドワード第七世の夢寐せられたる所、それより漸く印度に入り、カルカッタに達せんとするのである。

三、スエズ運河は世界交通の幹線にあたりて、船舶の往來常に絶えず。

○スエズ運河は佛人レセツプ(Lesep)一八五六年開鑿の許可を得、一八五九年四月二



十二日工事を始め、人を用ふること約三萬、資金を費すこと前後總計約二億圓、年を経ること十年、一八六九年(明治二年)十一月十六日成就し、翌十日より航通せり。運河の長さ八十七哩(湖水二十一哩なる故實際の運河は六十六哩)此端にはボートサイドあり、南端にはスエズあり。何れも良港なり。運河の幅水面に於て五八乃至一〇〇米、底部に於て二二米、深さ八米あり。(後一八八六年より一八九〇年に互り更に二尺一寸を深くす。運河を通過するには通常十七八時間を要す。)

第十一 北アメリカ洲(北米)

●区分

一、位置

北アメリカ洲は太平洋と大西洋との間に挟り、西北はベーリング海峡をへだて、シベリヤに對し、南はパナマ地峡によりて南アメリカ洲に連る。

二、面積・人口

1. 地形は、三角形を爲し、面積アジヤ洲の二分の一よりや、大世界第三の大陸なり。

2. 人口一億を超ゆ。

三、区分

1. 英領カナダ……………本洲の北部にあり。
2. アメリカ合衆國……………本洲の中部を占む。
3. メキシコ……………本洲の南部に位す。

●地勢

一、地勢は大體三部にわかる。

1. 太平洋高地。

2. 大西洋高地。

3. 兩地間の中央平原。

二、西部太平洋高地

1. 高峻なるロッキー山脈長く南北に連りて、主要なる分水嶺を爲す。

2. 中に火山少なからず。

三、東部大西洋高地

1. アパラチャ山脈南北に連る。その高さ大ならず。

2. ラブラドル高原あり。

四、兩地間の中央平原

ロッキー山脈、アパラチャ山脈の間には廣大なる平野あり。

1. 南部：おほむねミシシッピ河の流域をなす。世界第一の豊饒なる大平原なり。

ミシシッピ河は世界第一の長流(一千七百里)にして汽船の往來しげく、灌溉發電に利用せらるゝこと大なり。

2. 北部：五大湖を始めとして湖水多し。

五大湖とはスベリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタリオをいふ。

これ等の湖水はセントローレンス河となりて東流す。

湖水は汽船の往來しげく、又灌溉發電に利用せらるゝこと大なり。

挿畫 五大湖地方にあるナイヤガラ瀑布

エリー湖とオンタリオ湖とを連ぬるナイヤガラ河にナイヤガラ瀑布あり。瀑布はゴート島によりて二部にわかたる。

手前の方はアメリカ合衆國なり。中央の樹木繁れる所はゴート島にして左はアメリカ瀑にして幅一千六十尺高さ百六十七尺あり。右方はカナダ側のカナダ瀑一名馬蹄瀑にして曲り幅三千十尺、高さ百五十八尺あり。

この水は發電に利用せらる。

○カナダは年々五尺アメリカは三尺づゝ退却すといふ。

③ 産業

一、農業・牧畜・林業

1. アメリカ合衆國とカナダの南部とは、氣候溫和にして、農業牧畜發達す。
2. 合衆國の平野はその發達最も著しく、小麦・綿・煙草・たうもろこしの産額は、いづれも世界第一に位す。
挿畫 中央大平野に於ける小麦の收穫(米國)
大規模の農業にて機械を使用す。この畫に見ゆる作業中の機械は收穫機械なり。馬二十四頭を要す。御者は二人一度に五米幅づゝ刈り行くなり。一日に二十五町乃至三十八町を刈る。短く切りとれる穂は機中にて莖よりはなれ後方の袋の中にとりいれらるゝなり。
3. 牧畜は牛・馬・羊・豚の飼養多く、豚肉は世界第一なり。
4. カナダ、合衆國の東西兩部は森林に富み、木材の産多し。

5. 合衆國の太平洋沿岸の農場よりは、葡萄・桃・梨・苹果・オレンジ等の果實を産す。

挿畫 アメリカ合衆國の太平洋沿岸にある果樹園

カリフォルニア洲の果樹園の光景なり。我國人の果樹園の手入施肥に従事するもの頗る多し。

6. 西印度諸島のキューバ島は世界に於ける砂糖の生産地なり。

○甘蔗糖の産額多きこと世界第一なり。

二、水産業

1. 本洲の中部以北の東西兩側の近海は世界著名の漁場なり。殊に

東部のニューフォンドランド島近海は世界三大漁場の一なり。

○世界三大漁場：ノルウェー海岸北海道近海、ニューフォンドランド島近海。

○ニューフォンドランド近海は北米の寒流と南米の暖流との會する所にして魚類多し。

2. 主要なる水産物：たらにしん・鮭等。

三、鑛業・工業・貿易

1. 本洲は東部アパラチャ山脈附近及び五大湖沿岸地方は石炭・鐵・銅